

旭川未来会議 2030 意見等一覧（検討状況進捗管理表）

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
1	R4	観光	動物園における朝又は夜のイベント開催	旭山動物園	実施不可	現在、夜の動物園を1週間実施しているが、動物の負担や体調への影響を考慮すると、期間や時間帯を延長することは難しく、朝の開園についても、動物の生態から見た必要性、開園までの準備時間の確保などから、実施困難と考える。	実施不可	現在、夜の動物園を1週間実施しているが、動物の負担や体調への影響を考慮すると、期間や時間帯を延長することは難しく、朝の開園についても、動物の生態から見た必要性、開園までの準備時間の確保などから、実施困難と考える。
2	R4	観光	動物園内でのラーメン屋などの出店	旭山動物園	調査	園内にはラーメンを提供している飲食店はあるが、専門店の出店については必要性や効果を検討していく。	一部改善	次年度からの出店者を決める売店プロポーザルを今年度実施しているが、意見を踏まえて審査会等で検討した結果、専門店を要件とはしないが、専門店の形態を含めて、広く民間から多様な企画提案を募集することとなった。
3	R4	観光	動物園への新しい動物の飼育	旭山動物園	調査	新しい動物の展示については、北海道に生息している動物にスポットを当てていくという旭山動物園の方針を踏まえ、導入の必要性を慎重に検討する必要がある。	実施不可	今回様々な条件が整い、今年6月に砂川から新しいヒグマの子の受け入れを行った。また新しい動物種、特に希少な動物については、動物保護の観点から入手自体が難しい情勢となってきた。今後も北海道に生息している動物にスポットを当てていくという旭山動物園の方針を踏まえ、施設や動物がより良く過ごせる環境を考慮しながら慎重に状況を見極める。現状、導入の予定はないため実施不可とさせていただきます、参考意見として取り扱う。
4	R4	観光	ペンギンと一緒に滑れるスケート場の設置	旭山動物園	実施不可	園内は傾斜が多く、スケート場を整備できるような平らで広い敷地が無く、ペンギンの散歩の実施目的や旭山動物園の行動展示の理念から実施困難と考える。	実施不可	園内は傾斜が多く、スケート場を整備できるような平らで広い敷地が無く、ペンギンの散歩の実施目的や旭山動物園の行動展示の理念から実施困難と考える。
5	R4	観光	動物園を活用したナイトサファリン旭川	旭山動物園	実施不可	現在、夜の動物園を1週間実施しているが、動物の負担や体調への影響を考慮すると、期間や時間帯を延長することは難しく、朝の開園についても、動物の生態から見た必要性、開園までの準備時間の確保などから、実施困難と考える。	実施不可	現在、夜の動物園を1週間実施しているが、動物の負担や体調への影響を考慮すると、期間や時間帯を延長することは難しく、朝の開園についても、動物の生態から見た必要性、開園までの準備時間の確保などから、実施困難と考える。
6	R4	観光	温泉ガストロノミーツーリズムの実施	観光課	予算要求	来年度はガストロノミーツーリズムのイベントを実施予定。	予算化	イベントの実施については規模・内容や協力事業者との調整が必要であることから引き続き検討することとしたが、旭川市と大雪圏域が有するツーリズム構成要素の情報発信及び二次交通利用による周遊の利便性を向上させるため、Webツール「Trip Blender」の情報を拡充した。
7	R4	観光	サステナブルツーリズムの実施	観光課	調査	効果的な事業構築の検討が必要。	調査	効果的な事業構築の検討が必要。
8	R4	観光	リアルスポーツとeスポーツを活用した、スポーツツーリズムの実施	経済交流課	長期検討	eスポーツを活用した、スポーツツーリズムの実施については、ICTパークを活用した事業が想定されるが、ニーズ（eスポーツ観戦をしたいのか、あるいはプレイしたいのか等）や運営体制の構築等、調査・検討する必要があるため、今後の事業構築の参考とする。	長期検討	eスポーツを活用したスポーツツーリズムの実施については、ICTパークを活用した事業が想定されるが、ニーズや運営体制の構築のほか、eスポーツのタイトルによっては、許諾や風営法等により使用が難しいものもあることから、採算性も含め、実施の可否を調査・検討する必要があるため、引き続き今後の事業構築の参考とする。
				観光課	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。
				スポーツ課	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。
9	R4	観光	道の駅プロジェクト（各イベントの実施）	経済交流課	調査	道の駅の管理を行う地産センターや物産協会との協議や、需要調査の実施が必要。	長期検討	観光コンテンツとして収益化できるモデルを構築する必要があるが、現時点で採算性の見込みが立たない。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
10	R4	観光	旭川の朝市を活用した競り体験商品造成	観光課	長期検討	コロナの影響があるうちは競り体験はできない。	予算要求	関係事業者との協議で競り体験は難しいため、来年度（R6）食と体験を楽しめる朝市イベント等を実施予定。
				経済交流課	長期検討	旭川まちなかマネジメント協議会が中心となり、7条買物公園で7～8月の毎週日曜日に「まいど！朝市」を実施しているが、競り体験については、魅力ある地場産品の確保や運営ノウハウが必要となるほか、近隣住民との騒音トラブルも課題となる。 また、コロナの影響も考慮する必要があり、今後の事業構築の参考とする。	長期検討	旭川まちなかマネジメント協議会が中心となり、7条買物公園で7～8月の毎週日曜日に「まいど！朝市」を実施しているが、競り体験については、魅力ある地場産品の確保や運営ノウハウが必要となるほか、近隣住民との騒音トラブルも課題となる。 また、商品開発に見合うニーズがあるかの調査費、商品開発費や施設整備など初期投資、持続的な商品とするための継続した広告宣伝費など財源の確保も必要であることから、現時点では事業構築の参考とするに留める。
11	R4	観光	スタルピン球場でのフェスの開催	公園みどり課	実施済	野球の使用に影響が出ないイベントの開催は可能。	実施済	野球の使用に影響が出ないイベントの開催は可能。
12	R4	観光	旭川木材を使ったアスレチック広場の建設	公園みどり課	長期検討	現在、アスレチック広場の建設予定はないが、建設する場合には旭川木材の使用を検討する。	長期検討	現在、アスレチック広場の建設予定はないが、建設する場合には旭川木材の使用を検討する。
13	R4	観光	旭橋付近での人工スキー場の建設	スポーツ課	調査	必要性や効果を検討する必要がある。	調査	必要性や効果を検討する必要がある。
14	R4	観光	透明な橋（ガラスやアクリル板）の建設	土木建設課	調査	架設場所における観光分野への効果については、関係部署による検討が必要。 橋梁架設場所によって条件が異なるため、場所が選定された後、整備可能か調査検討が必要。	調査	架設場所における観光分野への効果については、関係部署による検討が必要。 橋梁架設場所によって条件が異なるため、場所が選定された後、整備可能か調査検討が必要。
15	R4	観光	旭川駅裏にビーチの建設	公園みどり課	実施不可	鏡池は忠別川から水を引いているため、砂の流出、池と岸の段差解消、水質改善等の問題により実施困難。	調査	北彩都ガーデンエリアのさらなる高質化を図るため、砂浜のコンセプト導入も視野に、施設整備に向けての調査検討を実施予定（市長指示あり）
				地域振興課	実施不可	中心市街地の活性化やまちの賑わいの創出につながる可能性はあるものの、利便性、需要、技術面等において課題も多く、現状においては、実施は困難であると考えている。	実施不可	中心市街地の活性化やまちの賑わいの創出につながる可能性はあるものの、利便性、需要、技術面等において課題も多く、現状においては、実施は困難であると考えている。
16	R4	観光	アミューズメント複合施設建設	経済交流課	実施不可	民間事業者による採算性等の検討が必要。市主導では困難。	実施不可	民間事業者による採算性等の検討が必要。市主導では困難。
17	R4	観光	旭川空港から旭川駅までの川下り実施	観光課	予算要求	来年度商品化予定。	一部実施	大雪カムイミナタDMOにより、令和5年中に3回（6月、7月、9月）北彩都ガーデン大池でカヌー体験商品を販売。
18	R4	観光	口コミを活用した情報発信	観光課	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。
19	R4	観光	メディアを上手く活用した情報発信	観光課	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。
				広報広聴課	予算要求	継続して、関係部局と連携しながら、各広報媒体を活用した情報発信を積極的に行う。 令和5年度から、SNSキャンペーンや市ホームページのデザインリニューアル、デジタルサイネージの導入など、デジタル媒体を活用した情報発信体制を強化する。	実施	各部局と連携しながら、各広報媒体を活用した情報発信を積極的に行っている。 また、新庁舎に広告付きデジタルサイネージを設置し、移転後（11/6～）に運用を開始するほか、Instagramでのフォトコンテストの開催など、SNSを活用したキャンペーンを実施予定。市ホームページは令和6年3月にトップページをリニューアル予定。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
20	R4	観光	旭川にゆかりあるものを活用したプロモーションやキャンペーンの実施（関係人口拡大）	観光課	改善可能	来年度以降も地場産品を活用し積極的にプロモーションを行う。	改善可能	来年度以降も地場産品を活用し積極的にプロモーションを行う。
21	R4	観光	旭川空港の利用促進と利便性PR	空港政策課	実施済	空港運営会社や路線で結ばれた地域などと連携して、空港や地域におけるイベント、広告宣伝を実施しており、今後も継続していく。	実施済	空港運営会社や航空会社、路線で結ばれた地域などと連携して、空港や地域におけるイベント、広告宣伝を実施しており、今後も継続していく。
22	R4	観光	旭川空港におけるHACの離発着	空港政策課	長期検討	これまでの航空会社への要望活動を今後も継続していく。	一部改善	これまでの航空会社への要望活動を今後も継続していくほか、令和5年10月に大雪山周遊チャーターを実施する。
23	R4	観光	旭川空港と中部国際空港の路線強化	空港政策課	長期検討	これまでの旭川・名古屋両地域での路線PR活動と、航空会社への要望活動を今後も継続していく。	長期検討	これまでの旭川・名古屋両地域での路線PR活動と、航空会社への要望活動を今後も継続していく。なお今年度は名古屋市内のイオンモール、イオンモール旭川西、食バマルシェでの路線PRイベントを実施したほか、旭山動物園と名古屋市内にある東山動植物園が連携した路線PR事業も実施した。
24	R4	観光	旭川空港から西神楽駅の間をゴンドラ移動	空港政策課	実施不可	実現については、利便性、需要、技術面等において課題も多く、難しいものと考えている。	実施不可	実現については、利便性、需要、技術面等において課題も多く、難しいものと考えている。
25	R4	観光	旭川空港を活用したオープンジョーの実施	空港政策課	長期検討	広い北海道で広域観光需要を取り込むため、空港運営会社に対して具体の提案を促していく。	長期検討	広い北海道で広域観光需要を取り込むため、空港運営会社に対して具体の提案を促していくほか、10月に7空港所在自治体と北海道エアポートとの連携事業にてオープンジョーも含めた利用促進PRを実施する。
26	R4	観光	バスの外国語表記の統一	都市計画課	長期検討	市内路線再編の取り組みと合わせてバス停等の外国語表記についてバス会社と協議を行っていく。	長期検討	バス停等における外国語表記については、バス会社2社と有識者を交えた路線バス効率化検討会議においてバス路線の再編と合わせて協議を行っていく。
				観光課	調査	受入体制の充実のために必要な取組であるが、実施主体や予算的な協議が必要。	調査	受入体制の充実のために必要な取組であるが、実施主体や予算的な協議が必要。
27	R4	観光	市内観光周遊バスの運行実施	観光課	調査	利用実績が伸びずに事業を廃止した経過があるので検討が必要。	調査	利用実績が伸びずに事業を廃止した経過があるので検討が必要。
28	R4	観光	観光タクシードライバーの登録制	観光課	調査	実施可能か関係団体との協議が必要。	調査	実施可能か関係団体との協議が必要。
29	R4	観光	外国語表記の充実とQRコード等活用	観光課	調査	各施設との協議が必要。	調査	各施設との協議が必要。
30	R4	観光	旭川空港線（バス）の荷物スペースの変更	都市計画課	調査	バス事業者等へのヒアリングにより必要性を探る。	実施不可	バス事業者等へのヒアリングの結果、車内への荷物スペースの設置は、定員が減少することとなり、空港バスという性格上、極力積み残しは避けたいことから、対応は困難との回答。なお、日中の飛行機利用が少ないと見込まれる便への連絡バスについては、一般の路線バスと同じタイプの低床車を導入することがあり、その場合には車内に荷物スペースがあるとのこと。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
31	R4	観光	産業、教育、文化、スポーツなど各分野との連携強化	観光課	改善可能	今後も各分野と連携しながら観光振興を図る。	改善可能	今後も各分野と連携しながら観光振興を図る。
				産業振興課	実施済	旭川高専と連携し、地域企業との連携促進や地域の技術者育成に取り組んでいる（地域連携技術者育成支援事業）。	実施済	旭川高専と連携し、地域企業との連携促進や地域の技術者育成に取り組んでいる（地域連携技術者育成支援事業）。
				文化振興課	改善可能	今後も文化財や文化イベントを生かした観光振興に寄与できるよう関係部局との連携を図っていく。	実施済	R4年に北海道音楽大行進の90回記念事業として実施したミュージックウィークについて、観光課及び観光コンベンション協会等と連携し、事業内容を変更しながら継続事業化を図り音楽のまちとしての観光振興の拡充に努めている。
				スポーツ課	改善可能	今後も各分野と連携しながらスポーツ振興を図る。	改善可能	今後も各分野と連携しながらスポーツ振興を図る。
32	R4	観光	外国人対応における従業員の教育	観光課	調査	外国人対応のセミナー開催などの必要性の検討を行う。	調査	外国人対応のセミナー開催などの必要性の検討を行う。
33	R4	観光	市内及び周辺自治体との広域のMaaS運行	観光課	調査	北海道の観光では二次交通に課題があるためMaaSなどを今後も継続して取組。	調査	北海道の観光では二次交通に課題があるためMaaSなどを今後も継続して取組。
				都市計画課	長期検討	MaaSは、多くのプラットフォームがあることから何が有効か引き続き情報収集に努める。	一部実施	令和5年度に9事業者が連携し、旭川大雪圏におけるユニバーサルマスの実証実験が開始される予定
34	R4	観光	動物園の行動展示の他に、運営や経営の視点を取り入れた運営	旭山動物園	調査	民営的手法も含め、様々な運営形態の利点・課題等について整理し、必要性や効果を検討していく。	調査	民営的手法も含め、様々な運営形態の利点・課題等について整理し、必要性や効果を検討していく。
35	R4	観光	市内観光関係団体の統廃合と効果的・効率的運営	観光課	調査	既に検討しているもので、継続して統廃合などの検討を行う。	調査	既に検討しているもので、継続して統廃合などの検討を行う。
36	R4	観光	観光関連経済統計の整備	観光課	調査	現時点で必要な取組が検討が必要。	調査	現時点で必要な取組が検討が必要。
37	R4	観光	長期間にわたる食のイベント開催	経済交流課	長期検討	長期間にわたる食のイベント開催に当たっては、イベントの内容・規模等に応じ、運営体制の構築や事業費の確保が必要になるほか、長期間開催できる場所や出店者の確保も必要となるため、実施に係るニーズや費用対効果を見極めるとともに、民間事業者の参画も必要となる。 今後の事業構築の参考とする。	長期検討	長期間にわたる食のイベント開催に当たっては、イベントの内容・規模等に応じ、運営体制の構築や事業費・会場・出店者の確保などが必要となるが、昨今の著しい物価高騰や人手不足といった課題もあることから、関係事業者の意向等も踏まえながら、現在本市で実施している他のイベントも含め、ニーズや費用対効果について総合的に検討する必要がある。今後の事業構築の参考とする。
38	R4	観光	野外ライブができるライブ会場の建設	地域振興課	調査	中心市街地での野外ライブなどのイベントの実施について、R4に実施した市民アンケート結果を踏まえつつ、開催場所も含めた可能性や推進手法について検討を行う。	調査	R4年度に実施した市民アンケートの結果を踏まえつつ、引き続き、今後の実施の可能性などについて検討を行う。 また、R5年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、効果的な取組について検討を行っている。
39	R4	観光	大雪山を活用したアクティビティの幅広い周知	観光課	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。	改善可能	来年度以降も情報発信を積極的に行う。
40	R4	観光	DMOなど観光関係団体への民間能力の取入れ	観光課	改善可能	民間能力の取入れはこれまでも実施してきており、継続して対応する。	改善可能	民間能力の取入れはこれまでも実施してきており、継続して対応する。
41	R4	観光	様々な分野と連携した観光振興の取組	観光課	改善可能	今後も各分野と連携しながら観光振興を図る。	改善可能	今後も各分野と連携しながら観光振興を図る。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
42	R4	農業	新たに選定した高収益作物などの生産拡大（さつまいも、オクラなど）	農業振興課	予算要求	R5予算要求中（園芸作物施設等整備導入支援事業）。	実施	R5に園芸作物施設等整備導入支援事業を実施済み。 R6予算要求中。（事業内容は需要に応じられるようさらに見直しして実施する予定。）
				農業センター	実施済	サツマイモ等の新規有望品種に関わる栽培試験の実施。	実施済	サツマイモ等の新規有望品種に関わる栽培試験の実施。
43	R4	農業	競合相手が少なく、売れ行きも好調な冬季栽培野菜の生産拡大（寒締めほうれん草、雪の下にんじんなど）	農業振興課	実施済	H30～R4冬期野菜栽培普及推進事業により農業者支援を実施。 R5以降は、農業者の要望を確認しながら支援方法を検討。	実施済	H30～R4冬期野菜栽培普及推進事業により農業者支援を実施。 R6以降は、農業者の要望を確認しながら支援方法を検討。
				農業センター	実施済	冬季の野菜栽培に関する試験及び技術普及の実施。	実施済	冬季の野菜栽培に関する試験及び技術普及の実施。
44	R4	農業	多品目栽培や品質・収量向上のための基盤整備の推進	農林整備課	改善可能	ほ場の改善を図る生産基盤改善費のR5予算増額要求中。 国、道、関係団体と連携し、国・道営土地改良事業を継続して推進。	改善	ほ場整備を図る生産基盤改善促進費のR5予算を1,000千円増額した。R6予算も同額要求中。 引き続き国、道、関係団体と連携し、国・道営土地改良事業を継続して推進。
				農業センター	実施済	新規技術の適応性、営農現場での課題解決のための栽培法に関する試験の実施。	実施済	新規技術の適応性、営農現場での課題解決のための栽培法に関する試験の実施。
45	R4	農業	規格外野菜をカット野菜やセット（キット）野菜などへ加工・販売	農業振興課	実施済	R5名称変更（農畜産物商品開発等支援事業）。	実施済	農畜産物商品開発支援事業の実施。
				産業振興課	調査	実施者が収益性や継続性等をよく検討する必要がある。中小企業者が実施するのであれば、販促活動等において当課の「ものづくり支援補助金」の活用を検討できる。	実施	実施者が収益性や継続性等をよく検討する必要がある。中小企業者が実施するのであれば、販促活動等において当課の「ものづくり支援補助金」の活用を検討できる。 なお、R5は規格外野菜を活用した商品開発を含めた事業に係る申請が1件あり、審査の結果採択となった。
				廃棄物政策課	調査	加工・販売などの直接的な支援は農政部が担うべきものですが、食品ロスの低減につながるため、そうした視点から食品ロス削減推進ポータルサイトなどを活用した周知啓発については支援可能なので、事例を調査します。	調査	加工・販売などの直接的な支援は農政部が担うべきものですが、食品ロスの低減につながるため、そうした視点から食品ロス削減推進ポータルサイトなどを活用した周知啓発については支援可能なので、事例を調査します。
				経済交流課	調査	市内や近郊にもカット野菜の加工を行っている会社もあることから、マッチングの需要について調査を行う。	長期検討	加工した商品を継続的に販売する事業者が必要となるため、長期検討を要する。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
46	R4	農業	廃棄しなければならぬ野菜（部分）を有効活用	廃棄物政策課	調査	農家で発生する廃棄野菜活用の支援については、加工品などの商品開発、販売支援などが考えられ、こうしたことは農政部が担うべきものですが、食品ロス削減の視点からの周知啓発やフードバンクなどの連携支援は出来ると思うので、必要であれば農政部と連携して進めることは可能です。	調査	農家で発生する廃棄野菜活用の支援については、加工品などの商品開発、販売支援などが考えられ、こうしたことは農政部が担うべきものですが、食品ロス削減の視点からの周知啓発やフードバンクなどの連携支援は出来ると思うので、必要であれば農政部と連携して進めることは可能です。
				農業振興課	実施済	R5名称変更（農畜産物商品開発等支援事業）。	実施済	農畜産物商品開発支援事業の実施。
				産業振興課	調査	プレーヤーは誰なのか。生産者（農業者）か加工事業者なのか。また、供給の量や質は安定的なのかなど、課題を整理する必要がある。なお、生産者と加工事業者とのマッチングは可能。	調査	プレーヤーは誰なのか。生産者（農業者）か加工事業者なのか。また、供給の量や質は安定的なのかなど、課題を整理する必要がある。なお、生産者と加工事業者とのマッチングは可能。
				子育て支援課	調査	定期や定量といった、安定した提供体制が確立されれば、子ども食堂の運営団体など関係先への情報提供や調整は可能と考える。	調査	食品の取扱は衛生面の管理がシビアであることから、当事者間における直接取引を基本とし、必要に応じて実施団体等に情報提供を行う。
				学校保健課	長期検討	球根皮むき機等の大量調理で使用する機器は食材のサイズが揃っている必要がある。また、規格外の食材を活用する場合、廃棄部分が多くなるため、食材は栄養価を考えて必要量を設定している中、使用量がきちんと確保できない可能性があること、大量に扱うため作業にも時間がかかり、提供に間に合わなくなる可能性もある。	実施不可	球根皮むき機等の大量調理で使用する機器は食材のサイズが揃っている必要がある。また、規格外の食材を活用する場合、廃棄部分が多くなるため、食材は栄養価を考えて必要量を設定している中、使用量がきちんと確保できなくなる。さらに、大量に扱うため作業にも時間がかかり、提供に間に合わなくなるという支障をきたす。
47	R4	農業	ECサイト等を活用した販路拡大	農業振興課	調査	R3に農産物等インターネット販売開設等支援事業を実施済。今後のECサイト活用手法については調査検討中。	実施	R5にブランド推進系SNSを開発し、農業者の協力によるプレゼントキャンペーンを行い、商品の紹介サイトへの誘導を実施。
				産業振興課	調査	中小企業者が実施するのであれば、当課の「ものづくり支援補助金」の活用を検討できる。	調査	中小企業者が実施するのであれば、当課の「ものづくり支援補助金」の活用を検討できる。
48	R4	農業	売る側（市場、販売者）が販売計画を立てやすくできるよう収穫量予測を共有	農業振興課	調査	市場と農協（青果連）の連携が必要であることから、青果連に意見を周知する予定。	調査	市場と農協（青果連等）の連携が必要であることから、青果連等に情報共有する予定。
49	R4	農業	農産物（余剰分を含む）を必要とする人やお店へ繋げられるシステムづくり	農業振興課	調査	実施者含め検討必要	調査	実施者含め検討必要。
				産業振興課	調査	運用するシステムを事業者等に周知することは可能。新たな商流となるため、農協などとの連携が必要と考える。	調査	運用するシステムを事業者等に周知することは可能。新たな商流となるため、農協などとの連携が必要と考える。
				廃棄物政策課	調査	現在、規格外品なども販売される直売所の情報発信を農政部で行っているほか、未利用食品は、個人や事業者からフードバンクに届けられ活用されています。食品ロス削減の観点からも、関係部局や団体とも協議しながら、より効果的な取組の実施や既存取組の充実が図られるよう調査検討を行っていきたくと考えております。	調査	現在、規格外品なども販売される直売所の情報発信を農政部で行っているほか、未利用食品は、個人や事業者からフードバンクに届けられ活用されています。食品ロス削減の観点からも、関係部局や団体とも協議しながら、より効果的な取組の実施や既存取組の充実が図られるよう、引き続き調査検討を行っていきたくと考えております。
				経済交流課	長期検討	実施手法の検討が必要。	長期検討	実施手法の検討が必要。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
50	R4	農業	輸入品消費を抑えたり、国内外へ 拡販を視野に入れ、旭川の農産物 を冷凍野菜の原料として売り込む	農業振興課	調査	少量多品目という特徴から必要ロットが確保できない可能性も含め検討が必要。	調査	少量多品目という特徴から必要ロットが確保できない可能性も含め検討が必要。
				経済交流課	改善可能	国外への販路開拓の取組は例年実施している。次年度には冷凍食品企業とのオンライン商談会を実施予定。	改善可能	国内外への販路開拓の取組は例年実施している。
51	R4	農業	米の消費増を目指し、小麦価格高騰やアレルギー対応など注目度が高い米粉の利活用拡大（施設整備や製粉所利用料等への支援、製粉工場誘致など）	農業振興課	改善可能	農畜産物商品開発等支援事業で米粉商品の施設整備支援は可 旭川産米及び米粉PR事業を実施。	改善	農畜産物商品開発支援事業の実施 旭川産米及び米粉PR事業により、旭川食のアンバサダーによる米を含めた旭川産農産物のPRイベント等を実施
				企業立地課	実施済	製粉業を含めた食品関連産業を重点業種と位置づけ、誘致活動を継続中。	実施済	製粉業を含めた食品関連産業を重点業種と位置づけ、誘致活動を継続中。
52	R4	農業	旭川の米や野菜を使用した菓子開発など他業種（地元業者）とのコラボによる商品化	農業振興課	実施済	コラボ商品開発はこれまでも行われており、市も他業種とつなぐことは実施している。	実施済	コラボ商品開発はこれまでも行われており、市も他業種とつなぐことは実施済み。
				経済交流課	改善可能	他業種とつなぐことは、現在も実施（ゼロ予算）。	改善	他業種とつなぐことは、現在も実施。
53	R4	農業	市民広報誌など、保管性や視認性の高い紙媒体の特異性を活かした情報発信	広報広聴課	改善可能	継続して、市政情報の具体的な取組や、関係者のインタビューを掲載するなど、関係部局と連携しながら、広報誌の特性を活かした情報発信に取り組む。	改善	令和5年5月号に花農家の写真を表紙に採用したところ、前向きな意見感想が多く寄せられ、紙媒体の視認性の高さを再認識したところである。また、年1回ほど、農業に関する特集を組むことがあるため、これまで以上に農作物の美しさや魅力が伝わるよう、担当部局と連携しながら掲載内容を工夫していく。連載については、担当部局と連携し、メリット・デメリットを踏まえ連載の必要性について調査を要する。
				農政課	実施済	従前どおり農業関連記事掲載の際は情報提供を実施。 江丹別若者の郷での体験会などの案内を掲載。	実施済	従前どおり農業関連記事掲載の際は情報提供を実施。 江丹別若者の郷での体験会などの案内を掲載。
				農業振興課	実施済	広報誌への農業関係記事掲載は、これまでも年1回程度実施（回数の増加や特集内容については関係課と検討が必要）。	実施済	広報誌への農業関係記事掲載を実施。
				農業センター	実施済	家庭菜園講習会、体験農園、農産加工体験会の案内。	実施済	家庭菜園講習会、体験農園、農産加工体験会の案内。
54	R4	農業	YouTubeやTikTokなどを含めたソーシャルメディアの効果的活用による情報発信	広報広聴課	予算要求	令和5年度から、SNSキャンペーンや市ホームページのデザインリニューアル、デジタルサイネージの導入など、デジタル媒体を活用した情報発信体制を強化する。	実施	SNSキャンペーンや市ホームページのデザインリニューアル（令和6年3月予定）、デジタルサイネージの導入など、デジタル媒体を活用した情報発信体制を強化している。
				広報広聴課	調査	T i k T o k について、メリット・デメリットを踏まえ導入の可否について調査を要する。	調査	TikTokについては、運用事業者からのヒアリングを継続し、日本国内のMAU（月間アクティブユーザー数）の推移をみながら、実際にアカウントを開設する場合の目的・コンテンツ内容等を検討し、その労力・費用対効果を見極めていく。
				農政課	実施済	従前どおり農業関連情報発信の際は情報提供を実施。	実施済	従前どおり農業関連情報発信の際は情報提供を実施。
				農業振興課	改善可能	市既存アカウントを使い発信を強化。	改善	R5にブランド推進系SNSを開設。農と食の情報発信を実施。
			農業センター	実施済	F a c e b o o k を活用した施設の情報発信。	実施済	X, Facebookを活用した施設の情報発信。	

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
55	R4	農業	旭川ゆかりの著名人やインフルエンサーを起用したPR活動	農業振興課	改善可能	下国伸シェフによる旭川産農産物のPR事業を実施。	改善	旭川食のアンバサダーへの下国シェフ就任、旭川産米及び米粉PR事業の実施。
				農業センター	実施済	下国伸シェフ関連イベントの会場提供。	実施済	下国伸シェフ関連イベントの会場提供。
				広報広聴課	調査	旭川食のアンバサダー・下国シェフ関連イベントについて、積極的な情報発信を実施した。インフルエンサーを起用したPR活動については、メリット・デメリットを踏まえ導入の可否について調査を要する。	調査	旭川食のアンバサダー・下国シェフ関連イベントについて、積極的な情報発信を実施した。インフルエンサーを起用したPR活動については、メリット・デメリットを踏まえ導入の可否について調査を要する。
56	R4	農業	デザイン都市として、農業と旭川デザインプロデューサーなどとの連携	産業振興課	実施済	主たるプレーヤーは生産者（農業者）or加工事業者など、誰なのかが重要。 なお、R3の旭川デザインプロデューサー人材育成事業の中で、農業法人に協力をいただき、実践研修を行った経緯もあり、農業の課題を「デザイン」で解決していく展開は可能。	実施済	R5.8に、旭川デザインプロデューサーと地域の生産者や農業高校と連携したイベントを試験的に実施した。今後も、農業の課題を「デザイン」で解決していく展開は可能。
57	R4	農業	タクシーやバスなど、公共交通機関を活用した旭川農産物のPR	農業振興課	調査	事業を実施しようとする者に対する支援を検討する。	調査	事業を実施しようとする者に対する支援を検討する。
				都市計画課	調査	必要性を含め農業振興課と連携して検討を行う。	調査	事業が必要と判断された場合には、事業者へのつなぎなどについて協力する。
58	R4	農業	米どころならではのイベント開催（米プラス土俵づくり、泥んこ相撲、絵画コンクールなど）	農業振興課	実施済	食に関するPRイベント実施（ななつぼしレストラン、ななつぼし料理教室）。	実施済	旭川産米及び米粉PR事業による旭川産米のPRイベントの実施
				スポーツ課	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。	調査	各担当課において必要性や効果を検討する必要がある。
				経済交流課	改善可能	現在、物産展等を通じて米どころをPRしている。今後さらなる効果的な手法を検討する。	改善	物産展等を通じてPRしている。
				観光課	改善可能	開催主体というより、旅行会社等イベントのPRを行う。	改善可能	開催主体というより、旅行会社等イベントのPRを行う。
59	R4	農業	体験型ふるさと納税返礼品の強化（農産物・農作業体験の提供など）	農業振興課	調査	体験型の返礼品については検討。	調査	体験型の返礼品については検討。
				農政課	調査	グリーン・ツーリズム施設等への調査。	調査	グリーン・ツーリズム施設等への調査。
				税制課	長期検討	季節限定（6月下旬～8月）のトマト収穫体験の返礼品を取り扱っているが、体験型返礼品を強化するに当たっては、市内の個人、団体又は企業が実施主体となり「返礼品提供事業者」として、農産物や農作業体験の提案をしていただく必要があるため、関係課と連携して、新規事業者の発掘を行っていく必要がある。	長期検討	季節限定（6月下旬～8月）のトマト収穫体験の返礼品については、返礼品提供事業者による寄附者及び体験施設との調整に係る事務手続が煩雑である等の課題により受付を停止している状況である。 体験型返礼品を強化するに当たっては、市内の個人、団体又は企業が実施主体となり「返礼品提供事業者」として、農産物や農作業体験の提案をしていただく必要があるため、関係課と連携して、新規事業者の発掘を行っていく必要がある。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
60	R4	農業	実は身近にある農業や食の大切さを知ってもらうため、子どもたちへ農業体験機会を提供	農政課	改善可能	子ども体験塾の中で令和5年度から新たに野菜（トマト）収穫体験を実施予定。	改善	子ども農業体験塾の中で令和5年度からトマト収穫体験及びトマトジュース加工体験を追加し、身近にあるものがどのように作られているのかを学ぶ機会を提供した。
				農業センター	実施済	子ども農業体験塾の会場提供。	実施済	子ども農業体験塾の会場提供。
				教育指導課	実施済	一部の学校で実施されている。（各学校において、子どもや学校、地域の実態等に応じて、実施を判断している）。	実施済	一部の学校で実施されている。（各学校において、子どもや学校、地域の実態等に応じて、実施を判断している）。
				保健指導課	改善可能	収穫する農産品に係るレシピ提供等は可能。【予算なし】	改善	市のホームページ、食育のレシピ紹介で旭川産野菜を使った「野菜たっぷりレシピ」や「野菜が主役の料理教室レシピ」を掲載。
61	R4	農業	エコロジカルな素材活用や量り売りなどパッケージの見直し、削減	農業振興課	改善可能	野菜流通出荷試験事業により一部品目について実施の可能性は確認。今後も青果連と連携しながら、販売者や農業者へ取組の周知を図る。	調査	実証実験を2年間、その後周知を3年間行ったが、実施希望者が現れない状況であり、現時点での実現は困難であるが、今後の状況の変化などがあれば必要に応じて対応していく。
62	R4	農業	消費者、流通・小売業者を巻き込んだ地球環境に配慮したパッケージへの理解醸成	農業振興課	改善可能	青果連と連携しながら、販売者や農業者へ取組の周知を図る。	改善可能	青果連と連携しながら、販売者や農業者へ取組の周知を図る。
63	R4	農業	みどりの食料システム戦略を実践し、持続可能な農業の実現	農業振興課	改善可能	環境保全型農業直接交付金による農業者支援は実施中。その他、食料システム戦略や関連制度について農業者に周知を図る。	改善可能	環境保全型農業直接交付金及びみどりの食料システム戦略緊急対策交付金（有機転換推進事業）による農業者支援は実施中。グリーン農業を推進するため、更なる食料システム戦略推進交付金の活用を検討している。
				農業センター	改善可能	有機質資源の有効利用に関する試験の実施。体験農園での有機農業体験区画の試行。	改善	有機質資源（下水汚泥）の有効利用に関する試験の実施。体験農園での有機農業体験区画の試行。
64	R4	農業	スマート農業のさらなる普及・拡大による、農家のワークライフバランスの実現、就農へのハードル低減	農業振興課	改善可能	スマート農業のさらなる普及・拡大にかかる支援を実施。	改善	スマート農機具の導入を支援し、その性能によって熟練者でないと難しい作業の再現や、省力化による労働時間の短縮につながっている。
				農政課	実施済	新規就農時の採択制の国補助事業において、スマート農業の活用によりポイントが付与されることから、農業機器の選定において助言をしている。	実施済	就農へのハードル低減に向けて、農業経営を始めてから経営が安定するまでの最大3年間の資金交付及び農業経営を開始した年度における機械・施設等の導入を支援。
65	R4	農業	営農の法人化で農業生産者をサラリー化することにより農業への就業率アップ	農政課	実施済	北海道の法人化支援事業を活用し、法人化を進める（今年度も活用予定の農業者あり）。	実施済	北海道の法人化支援事業を活用し、法人化を進める。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
66	R4	農業	今までの実績を活かした道内外からの新規就農者確保，受入側の負担軽減	農政課	実施済	受入側の負担軽減のため，指導謝金に係る要領の見直し（謝金対象が夫婦の場合1件だったのを2件に，支払時期を一括払いから毎月払いを可能に）を行った。引き続き，移住担当部局と連携しながら，就農相談に対応していく。	実施済	受入側の負担軽減のため，指導謝金に係る要領の見直し（謝金対象が夫婦の場合1件だったのを2件に，支払時期を一括払いから毎月払いを可能に）を行った。引き続き，移住担当部局と連携しながら，就農相談に対応していく。
				農業センター	実施済	北海道認定の研修教育機関として新規就農希望者の研修の実施。	実施済	北海道認定の研修教育機関として新規就農希望者の研修の実施。
				地域振興課	実施済	今後も引き続き，農政部で実施する新規就農者確保に係るイベント等の取組と連携した移住相談等を実施する。	実施済	今後も引き続き，農政部で実施する新規就農者確保に係るイベント等の取組と連携した移住相談等を実施する。
67	R4	農業	安心安全や価格安定などメリットが多い地産地消への理解促進	農業振興課	実施済	農業者も講師になってもらう出前講座の実施を継続。	実施済	農業者も講師になってもらう出前講座の実施を継続。
				農政課	実施済	市民農業大学，子ども農業体験塾の実施。	実施済	市民農業大学，子ども農業体験塾の実施。
				保健指導課	実施済	第4次旭川市食育推進計画（令和5年4月施行予定）への盛り込み，情報発信。【予算なし】	実施済	第4次旭川市食育推進計画（令和5年3月策定）において内容を盛り込むとともに，計画の周知に努めている。
68	R4	農業	直売所や子ども食堂など農家と消費者が直接つながる仕組み構築	農業振興課	実施済	JAや農家の直売所は既にある。子ども食堂へも，JAから米や野菜の提供が行われている。	実施済	JAや農家の直売所は既にある。子ども食堂へも，JAから米や野菜の提供が行われている。
				農政課	実施済	グリーン・ツーリズムガイドブックで直売所等の情報発信。	実施済	グリーン・ツーリズムガイドブックで直売所等の情報発信。
				子育て支援課	調査	子ども食堂の運営団体によっては，既に個別につながりが構築されているところ。現状では属人的な関係に頼らざるを得ないが，例えば，なんらかのつながりを希望する農家のリスト化など，広く情報入手できる仕組みが構築されれば，各関係先への情報提供等は可能と考える。	調査	食品の取扱は衛生面の管理がシビアであることから，当事者間における直接取引を基本とし，必要に応じて実施団体等に情報提供を行う。
69	R4	農業	農家と地元業者（飲食業，製菓業，弁当製造業など）をマッチング	農業振興課	実施済	他業種とつなぐことは，現在も実施。	実施済	他業種とつなぐことは，現在も実施。
				経済交流課	実施済	農業振興課と連携して商談会等を案内している。	実施済	商談会等を複数回実施。農業振興課を通じて農業関係者にも案内している。
				産業振興課	改善可能	農業振興課と連携して製造業者とマッチングを行うことは可能（ゼロ予算）。	改善可能	農業振興課と連携して製造業者とマッチングを行うことは可能（ゼロ予算）。
70	R4	農業	食の重要性を多くの人に伝え，将来のサポーターを増やす（農業者による学校への出前講座など）	農業振興課	実施済	農業者も講師になってもらう出前講座の実施を継続。	実施済	農業者も講師になってもらう出前講座の実施を継続。
				保健指導課	実施済	第4次旭川市食育推進計画（令和5年4月施行予定）への盛り込み，食の重要性に係る情報発信。【予算なし】	実施済	第4次旭川市食育推進計画（令和5年3月策定）において内容を盛り込むとともに，計画の周知に努めている。
				教育指導課	実施済	関係各係と連携し「あさひかわ子どもの学び人材リスト」に2団体を掲載済。	実施済	関係各係と連携し「あさひかわ子どもの学び人材リスト」に5団体を掲載済。
				社会教育課	実施済	「あさひかわ学びの応援講座」への記載あり。	実施済	「あさひかわ学びの応援講座」への記載あり。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
71	R4	農業	両者の課題を一緒に解決し、Win-Winな関係構築を実現する農福連携の推進	農政課	改善可能	HPによる事例紹介、取組意向のある農業者に向けての定期的な情報発信等に加え、農福連携技術支援者の活用等により農作業の細分化、マニュアル化等、取組の拡大に必要な支援策を検討。	予算要求	R5からは、北海道と連携し、農福連携の課題解決や農福連携技術支援者の活用による農作業の切り出し、細分化等、取組の拡大に必要な支援を実施。 R6開始の農福連携助成金の予算を要求。
				農業センター	改善可能	北海道の農福連携技術支援者育成研修の協力実施。	改善	北海道の農福連携技術支援者育成研修の協力実施。
				障害福祉課	実施済	旭川市自立支援協議会就労部会において、福祉事業所や農協等と、農福連携の推進に向けて協議を行っており、福祉側は障害福祉課、農業側は農政課がそれぞれ窓口となり、アンケートによるニーズ把握や理解促進のための研修を行っている。 今後も福祉事業所と農業者双方の課題を解消し、農福連携の推進に係る取組を検討する。	実施済	各種相談や試行的なマッチング支援、農業・福祉双方に専門的な知識や技術を有する者の調整、実地見学・体験会等を実施している。 今後も福祉事業所と農業者双方の課題を解消し、農福連携の推進に係る取組を検討する。
72	R4	農業	旭川を拠点として農業体験をしつつ、近隣町村の温泉を楽しむ	農政課	実施済	市のHPやグリーン・ツーリズムガイドブックなどで農業体験可能な宿泊施設情報を提供。 新たに農家民宿を実施する者に対し、申請手数料等の補助実施。	実施済	市のHPやグリーン・ツーリズムガイドブックなどで農業体験可能な宿泊施設情報を提供。 新たに農家民宿を実施する者に対し、申請手数料等の補助実施。
				観光課	実施済	モデルコースとして、農業体験と近隣温泉街への宿泊を提案している。	実施済	モデルコースとして、農業体験と近隣温泉街への宿泊を提案している。
				経済交流課	実施不可	該当なし。	実施不可	該当なし。
73	R4	農業	農協をひとつに	農政課	長期検討	農協間での話し合いが行われており、情報収集に努める。	長期検討	農協間での話し合いが行われており、情報収集に努める。
74	R4	農業	旭川の畑は一面、〇〇だけ！！	農業振興課	調査	ニーズや実現可能性を検討する。	実施不可	旭川市では多様な作物の栽培が可能であり、気候変動や病害虫への対策など、危機管理の観点からも単一作物の栽培を推進することは困難である。
				農業センター	長期検討	担当課の検討状況を踏まえた対応。	実施不可	旭川市では多様な作物の栽培が可能であり、気候変動や病害虫への対策など、危機管理の観点からも単一作物の栽培を推進することは困難である。
75	R4	農業	朝ごはん給食で旭川産米のおにぎりを	学校保健課	実施不可	炊飯は委託であるため早朝に提供を受けられないほか、児童生徒登校後に提供することとなるため望ましくないことから、小中学校での朝ごはん給食については実施困難。 また、調理員の人材確保が新たに必要となるが、人材確保は困難であるため、加工されているおにぎりを提供する場合においても、全員対象であれば児童生徒約2万個/日の製造先の検討や、通常の給食費（保護者負担）とは別で取扱う必要がある。	実施不可	炊飯は委託であるため早朝に提供を受けられないほか、児童生徒登校後に提供することとなるため望ましくないことから、小中学校での朝ごはん給食については実施困難。 また、調理員の人材確保が新たに必要となるが、人材確保は困難であるため、加工されているおにぎりを提供する場合においても、全員対象であれば児童生徒約2万個/日の製造先の検討や、通常の給食費（保護者負担）とは別で取扱う必要がある。
				子育て支援課	調査	当課が把握する限り、朝ごはんの提供を行っている子ども食堂はない。 今後、運営団体から朝ごはんの提供について相談等があった際は、必要に応じて農政部とも連携を図る。	調査	実施団体等から朝食の提供及び旭川米の使用について相談等があった場合は、必要に応じて農政部とも協議の上、対応を検討する。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
76	R4	農業	地場作物の生食、惣菜、スイーツが1か所で楽しめる施設づくり	農業振興課	調査	事業を実施しようとする者に対する支援を検討する。	調査	事業を実施しようとする者に対する支援を検討する。
				土木総務課	調査	【土木総務課による対応】 新・道の駅について、地場作物の物販等も視野に設置場所、施設規模、整備・運営手法の検討。R5年度は市民・関係団体等へのニーズ調査を実施予定。	調査	【土木総務課による対応】 新・道の駅について、地場作物の物販等も視野に設置場所、施設規模、整備・運営手法の検討。R5年度は道内他都市の道の駅の視察・事例調査と市民等へのニーズ調査を実施。
				経済交流課	長期検討	新道の駅の参考意見として取扱う。	長期検討	新道の駅の参考意見として取り扱う。
77	R4	農業	新庁舎で旭川の生産物を使った料理の提供、農業イベントの開催	農業振興課	調査	新庁舎をイベントの場の一つとして検討していく。	実施	R5は新庁舎のオープニングイベントとして、食堂で旭川米を使用した下國シェフのオリジナルカレーの販売を行う。
				職員厚生課	調査	職員の福利厚生等を目的として設置する新庁舎のレストランでは、公募における運営条件及び審査項目に「地場産の食材利用」を謳ってはいるが、業者選定中の状況であるため、実施は未確定である。	実施	新庁舎の食堂では、運営事業者が低廉で健康にも配慮した食事の提供をはじめ、新たなメニューの検討も行っているところですが、そこで使用される食材についても旭川産である自家農園で栽培した安全安心な食材を積極的に取り入れることとしています。
				観光課	調査	新庁舎や農業イベントを朝市として観光と連携させた商品造成を検討する。	調査	新庁舎や農業イベントを朝市として観光と連携させた商品造成を検討する。
78	R4	福祉	認知症予防教室や体操教室の自主化に向けた動きがあるが、市の事業として、同教室への医療・福祉・リハビリの専門職の一定程度の関与は継続的に行われるべきであると思う。	長寿社会課	実施済	旭川市地域リハビリテーション活動支援事業及び旭川市介護予防インストラクター派遣事業により、住民主体の通いの場に市内のリハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士を派遣し、活動の支援を実施している。	実施済	旭川市地域リハビリテーション活動支援事業及び旭川市介護予防インストラクター派遣事業により、住民主体の通いの場に市内のリハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士を派遣し、活動の支援を実施している。
79	R4	福祉	市として当事者活動への金銭的補助（当事者団体が柔軟に活用可能な財源の確保）の拡充・運営をサポートする体制（当事者活動を希望する人の登録制度や実際の活動における担い手の確保）を作るべきであると思う。 運営のサポートは、「担い手不足」と直結する問題であり、担い手の発掘や関係者・関係機関をつなぐ役割として、地域まるごと支援員の活動が鍵になってくると思う。	福祉保険課	長期検討	【福祉保険課及び福祉関係部局による対応】 他自治体における当事者活動への支援の在り方を調査・研修。 【福祉保険課による対応】 担い手について、地域まるごと支援員による参加支援事業（活動支援を希望する団体や活動を支援できる担い手のマッチング等）について継続・拡充していく。	実施	【福祉保険課による対応】 他自治体における当事者活動への支援の在り方を調査し、関係機関を対象として研修を実施した。 【福祉保険課による対応】 担い手について、地域まるごと支援員による参加支援事業（活動支援を希望する団体や活動を支援できる担い手のマッチング等）について継続・拡充していく。
				福祉関係課	長期検討		長期検討	

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
80	R4	福祉	町内会活動の活性化のために、札幌市のように町内会活動の意義や役割を条例化して、広く周知・啓発を行ってどうか。	地域活動推進課 ←市民活動課	長期検討	町内会活動の意義や役割については、その重要性を十分認識した上で、本市のまちづくり基本条例において、市民主体・地域主体のまちづくりを進めるための市民等の役割や市長等の責務について定めており、この条例の趣旨に基づき、様々な地域づくりに関する事業に取り組んでいます。 これまでも町内会の加入促進など地域活性化に取り組む町内会への補助金交付などの支援を行ってきましたが、令和4年には、新たに8月1日を「旭川市民の日」と定め、ふるさと旭川に対する誇りや愛着心を育むための取組として、アワードの実施（まちづくりに対する動機付けや励みとなる事業の実施や地域活動の周知・啓発活動を行う）、また、地域情報共有プラットフォームの開発により、町内会役員の負担軽減や町内会に関する情報発信を効率的に進めることとしています。 このような具体的な取組を進める中、さらに町内会活動を活性化させるためには札幌市をはじめとする他都市の事例も参考にしながら条例化の効果や実効性なども含めて検討してまいります。	長期検討	町内会活動の意義や役割については、その重要性を十分認識した上で、本市のまちづくり基本条例において、市民主体・地域主体のまちづくりを進めるための市民等の役割や市長等の責務について定めており、この条例の趣旨に基づき、様々な地域づくりに関する事業に取り組んでいます。 これまでも町内会の加入促進など地域活性化に取り組む町内会への補助金交付などの支援を行ってきたことに加え、令和4年に8月1日を「旭川市民の日」と定め、旭川市民活動見本市（地域活動の周知・啓発活動やまちづくりに対する動機付けや励みとなるイベント）やシンポジウムの実施、また、令和5年には「あさひかわくらしのアプリ」の運用を開始するなど、町内会役員の負担軽減や町内会に関する情報発信を効率的に進めています。 このような具体的な取組を進める中、さらに町内会活動を活性化させるためには札幌市をはじめとする他都市の事例も参考にしながら条例化の効果や実効性なども含めて検討してまいります。
81	R4	福祉	新たなつながりづくり・地域福祉活動の場を広げるためにICTを活用することが有用である。このことは災害対策やサロン開催の幅を広げると思う。さらに、ICTの活用により、地域福祉活動の担い手の事務的負担（業務の煩雑さ）を軽減することができると考えられ、担い手不足の解消の一つの方策となり得る。担い手がすべきことをシンプルにすることが大切だと思う。	福祉保険課	長期検討	【福祉保険課による対応】 ICT導入による、地域福祉活動の担い手の事務負担軽減・地域福祉活動（災害対策やサロン）への利活用を図っていく。	予算化	【福祉保険課による対応】 ICT技術を活用し、民生委員児童委員の業務の効率化と負担軽減を図るための業務支援ポータルサイトの開発に着手し、令和5年度中の運用開始を目指している。
82	R4	福祉	地域福祉活動におけるICT活用を促進するためには、Wi-fiフリースポットの拡大などの環境面の整備や機器の貸出ができるようになると良い。	情報政策課	長期検討	現在、フリーWi-Fiを利用できる主な施設は、 ・旭川市国際交流センター ・旭川市市民活動センター-CoCoDe ・緑が丘地域活動センター「グリーンパル」 などのほか、令和4年度には ・ときわ市民ホール ・中央公民館 ・江丹別公民館 で整備する予定。 今後も、必要性を検討し整備を進めていく。	長期検討	現在、フリーWi-Fiを利用できる主な公共施設は、 ・旭川市国際交流センター ・旭川市市民活動センター-CoCoDe ・緑が丘地域活動センター「グリーンパル」 ・ときわ市民ホール などとなっているほか、11月共用開始予定の新庁舎においても、一部の階において公共無線LANの提供を予定している。 今後も、公共施設等におけるWi-Fiの必要性を検討し整備を進めていく。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
83	R4	福祉	<p>地域まるごと支援員が活動の幅を徐々に広げ支援をしているが、民生委員やまち協委員などいわゆる役職者レベルまでの認知に留まっていると思うので、地域住民にとって身近な総合的な相談支援体制が整ってけば良いと思う。</p> <p>地域まるごと支援員は相談の種類としてはワンストップだが、その後の支援は専門機関に繋ぐことも往々にしてあるので、各地域で様々なケースに対応可能な拠点があると良い。</p> <p>いずれにしても、既存の相談機関では対応が難しいケースやつなぎ先が不明瞭なケースについて、地域まるごと支援員に話ができるというのは、地域生活における安心材料になっているので継続的に取組が行われることは良いことだと思う。</p>	福祉保険課	長期検討	<p>【福祉保険課による対応】</p> <p>まるごと支援員による多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の継続・強化。</p> <p>○複合化・複雑化した課題を抱えるケース、支援属性不明ケースの相談について、各地区のまるごと支援員に相談可能であることについて地域住民への浸透を図る。</p> <p>○まるごと支援員が、各地域の専門機関との円滑な協力体制を築いていくことで、相談受付後の様々なケースの対応を協働して行うことができるようにする。</p>	長期検討	<p>【福祉保険課による対応】</p> <p>まるごと支援員による多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の継続・強化。</p> <p>○複合化・複雑化した課題を抱えるケース、支援属性不明ケースの相談について、各地区のまるごと支援員に相談可能であることについて地域住民への浸透を図る。</p> <p>○まるごと支援員が、各地域の専門機関との円滑な協力体制を築いていくことで、相談受付後の様々なケースの対応を協働して行うことができるようにする。</p>
84	R4	福祉	<p>行政の中にも総合的な相談窓口があることが理想である。</p> <p>支援が必要な人は困っている内容を的確に伝えることが難しい場合が多いので、当該窓口では「相談者の話をしっかり聞くこと」が必要であり、その上で然るべき専門機関に案件をつなぐことができるような体制となるべきである。</p> <p>そのために、しっかり聞く・関係する専門機関につなぐ意識・福祉各領域の素地に係る研修等が行われると良い。</p>	福祉保険課 長寿社会課 障害福祉課 生活支援課	長期検討	<p>【福祉保険課及び福祉関係部局による対応】</p> <p>新庁舎移転後、福祉関係部局が同一庁舎内に配置されることとなる。加えて、福祉関係部局配属職員への共通研修の実施を検討し、相談内容を踏まえ、各部局間で円滑な連携を取りながら、適切に対応することを目指していく。</p>	長期検討	<p>【福祉保険課及び福祉関係部局による対応】</p> <p>新庁舎移転後、福祉関係部局が同一庁舎内に配置されることとなる。加えて、福祉関係部局配属職員への共通研修の実施を検討し、相談内容を踏まえ、各部局間で円滑な連携を取りながら、適切に対応することを目指していく。</p>
				子育て支援課	改善可能	<p>子育て支援部においては、研修等を通じた専門的な知識の習得のほか、適切な支援や手続きにつなげるため、関係機関との連携を意識しながら業務を行っている。今後、年度当初における異動による配属職員を対象とした研修等において、市民（相談者）に寄り添った対応についての内容を盛り込むことを検討する。</p>	改善	<p>子育て支援部においては、研修等を通じた専門的な知識の習得のほか、適切な支援や手続きにつなげるため、関係機関との連携を意識しながら業務を行っている。</p>

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
85	R4	福祉	<p>市職員を対象した町内会に係るアンケートの結果によると、40歳代を境に町内会への関心が薄いことが伺われる。世代間で今後の町内会活動に関する意見交換の場があると良い。住民の中にはゴミステーションと外灯以外に町内会加入のメリットがないと考える人が多いと思われ、当該意見交換の場などを通して、過去にとらわれず、新たな町内会活動や隣近所との人間関係の在り方を地道に探る取組が必要である。</p> <p>なお、町内会の問題は、未来会議における議論だけでは解決が難しいので、地域での継続的な話し合いが重要となる。</p>	<p>地域活動推進課 ←市民活動課</p>	長期検討	<p>ライフスタイルの変化や核家族化の進行、地域の間関係の希薄化など社会環境の変化により、町内会等の地域活動への関心度の低下や担い手不足など、地域課題が深刻化しております。</p> <p>このような課題への対策として、地域においては市民委員会の役員が小学校の授業へ出向いて、「まちづくり」や「ふれあいづくり」といった町内会の役割や重要性について子どもたちに伝える機会を設け、将来の地域の担い手づくりに独自に取り組んでいる所もあります。</p> <p>このような特色ある取組などの情報共有を図るため、全市的な住民組織である市民委員会連絡協議会が発行する広報誌への掲載や研修会を通じ、取組の発表、意見・情報交換の場を設けるとともに、市職員の研修、「旭川市民の日」や「地域情報共有プラットフォーム」など、様々な機会を活用しながら、地域活動の情報発信に努めていきたいと考えているところです。</p> <p>こうした取組を進める中で、町内会、市民委員会などと連携し、必要に応じて住民との意見交換の機会を設けるなど住民活動が更に活性化するよう取り組むとともに、町内会、市民委員会などが実施する活動を引き続き支援することで、持続可能な住民組織となるよう取組を進めてまいります。</p>	長期検討	<p>ライフスタイルの変化や核家族化の進行、地域の間関係の希薄化など社会環境の変化により、町内会等の地域活動への関心度の低下や担い手不足など、地域課題が深刻化しております。</p> <p>このような課題への対策として、地域においては市民委員会の役員が小学校の授業へ出向いて、「まちづくり」や「ふれあいづくり」といった町内会の役割や重要性について子どもたちに伝える機会を設け、将来の地域の担い手づくりに独自に取り組んでいる所もあります。</p> <p>このような特色ある取組などの情報共有を図るため、全市的な住民組織である市民委員会連絡協議会が発行する広報誌への掲載や研修会を通じ、取組の発表、意見・情報交換の場を設けるとともに、市職員の研修、「旭川市民の日」や「あさひかわくらしのアプリ」など、様々な機会を活用しながら、地域活動の情報発信に努めていきたいと考えているところです。</p> <p>こうした取組を進める中で、町内会、市民委員会などと連携し、必要に応じて住民との意見交換の機会を設けるなど住民活動が更に活性化するよう取り組むとともに、町内会、市民委員会などが実施する活動を引き続き支援することで、持続可能な住民組織となるよう取組を進めてまいります。</p>
86	R4	福祉	<p>A地区で製作している「支え合いマップ」は、市民委員会・地区民児協・地区社協が情報交換をして、さらに圏域内の病院や市防災課とも協働している。製作を通じ、有事への対応力向上だけでなく、地域の問題は地域で解決するという意識の醸成に繋がっていると思う。また、このような取組をきっかけにして住民同士の繋がりが生まれることがあると思うので、他の圏域でもこのような取組が広まると良い。</p>	福祉保険課	長期検討	<p>【福祉保険課による対応】</p> <p>まると支援員による生活支援体制整備事業を継続・強化する。</p> <p>A地区の事例を踏まえ、各地域で課題になっていることについて住民主体で取組むことを支援することで、住民同士の繋がりを広げていく。また各地域の取組事例を共有できるようにする。</p>	実施	<p>【福祉保険課による対応】</p> <p>まると支援員による生活支援体制整備事業を継続・強化する。</p> <p>各地区の取組事例を共有し、各地域で課題になっていることについて住民主体で取り組みを推進するための意見交換を行う包括的支援体制整備検討会を令和5年度から開催しており、令和6年度以降も継続的に実施する。</p>

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
87	R4	福祉	<p>役職者が行う地域福祉の取組だけではなく、一人一人の住民が参加できる活動も重要。ただ参加を求めるのではなく、「何か楽しいことがある」という活動を住民で考えたら良い。</p> <p>住民レベルで地域福祉や地域共生社会に係る理解を深めるための学習の場を設けていくことも有用であると思う。</p> <p>特に子どもについて、幼少期から地域に触れる機会がないと、地域への関心を育むことができないので、最も身近な町内会が然るべき活動を行っていることは重要であり、学校の教育の一環として地域福祉を学ぶ機会があっても良いと思う。</p> <p>また、担い手の観点からも、今後の地域福祉活動の在り方について、一定程度市が指針を示し、多世代に押し周知・啓発を行っていくべきである。</p>	福祉保険課	長期検討	<p>【福祉保険課による取組】</p> <p>○地域住民の地域共生社会に係る学びの機会として、出前講座の取組を拡充していく。</p> <p>○子どものうちから地域福祉の考え方に触れる機会として、小学校における「総合的学習の時間」の活用等について、学校教育部と協議・検討を行う。</p> <p>○第5期旭川市地域福祉計画において、地域共生社会に係る条例の理念を盛り込むとともに、地域共生社会の実現を見据えた各種取組について体系的に示していく。</p>	長期検討	<p>【福祉保険課による取組】</p> <p>○地域住民の地域共生社会に係る学びの機会として、出前講座の取組を拡充していく。</p> <p>○子どものうちから地域福祉の考え方に触れる機会として、小学校における「総合的学習の時間」の活用等について、学校教育部と協議・検討を行う。</p> <p>○第5期旭川市地域福祉計画において、地域共生社会に係る条例の理念を盛り込むとともに、地域共生社会の実現を見据えた各種取組について体系的に示していく。</p>
88	R4	福祉	<p>住民間のつながりの希薄化と担い手不足は区別できない（濃厚なつながりが担い手につながる）。また、地縁組織間で重複する機能を整理すること、または役割分担や連携の在り方を協議する場を設ける必要がある。一つの考え方として、「市民委員会」と「地区社協」が一体的な活動をできれば良いと思う。</p>	<p>地域活動推進課 ←市民活動課</p> <p>福祉保険課</p>	<p>長期検討</p> <p>長期検討</p>	<p>市民委員会と地区社会福祉協議会は異なる目的を持ち活動している任意団体ではありますが、市民委員会連絡協議会、旭川市社会福祉協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会が連携し、地区の市民委員会、地区社協関係者、地区民生委員を対象とした合同の研修会などを実施しているところです。</p> <p>また、町内会などの地縁組織と地域内の様々な分野の団体が情報交換を行う地域まちづくり推進協議会では、地域課題の共有や課題解決に向けた活動を検討するなど、各団体が連携した取組を実施しています。</p> <p>今後も町内会などの地縁組織を含め、関係団体が連携した取組を進めることで、担い手不足を含めた課題等への対策を検討していきたいと考えております。</p>	<p>長期検討</p> <p>長期検討</p>	<p>市民委員会と地区社会福祉協議会は異なる目的を持ち活動している任意団体ではありますが、市民委員会連絡協議会、旭川市社会福祉協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会が連携し、地区の市民委員会、地区社協関係者、地区民生委員を対象とした合同の研修会などを実施しているところです。</p> <p>また、町内会などの地縁組織と地域内の様々な分野の団体が情報交換を行う地域まちづくり推進協議会では、地域課題の共有や課題解決に向けた活動を検討するなど、各団体が連携した取組を実施しています。</p> <p>今後も町内会などの地縁組織を含め、関係団体が連携した取組を進めることで、担い手不足を含めた課題等への対策を検討していきたいと考えております。</p>
					長期検討	<p>地縁組織間で重複する機能は一部あると思われるが、機能の統廃合などを含めた一体的な活動を進めるためには、各組織において慎重に理解を求める必要がある。一方で、「市民委員会」「地区社協」「民生委員」等が緊密に連携することで有意義な活動が行われている事例などもあり、このような活動を広めていけば、長期的に在り方を検討することもアプローチの一つであると考えられる。</p>	長期検討	<p>地縁組織間で重複する機能は一部あると思われるが、機能の統廃合などを含めた一体的な活動を進めるためには、各組織において慎重に理解を求める必要がある。一方で、「市民委員会」「地区社協」「民生委員」等が緊密に連携することで有意義な活動が行われている事例などもあり、このような活動を広めていけば、長期的に在り方を検討することもアプローチの一つであると考えられる。</p>

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
89	R4	福祉	有料老人ホームは供給過多の状況であり、在宅支援を行うヘルパーの不足や介護保険料の上昇の要因の一つとなっている。また、今後（2040年頃）には空き施設が顕在化することが見込まれるため、地域密着型サービスのよう、住宅型有料老人ホームについても、需要に合わせ必要に応じ施設数を抑制する仕組みがあれば良い。	長寿社会課	実施済	住宅型有料老人ホームの入居者に対する訪問介護の頻繁な提供等が行われる場合はヘルパー不足や介護保険料の上昇に影響することから、利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなるよう専門職による点検や、介護付き有料老人ホームへの転換の促進等を図り、介護サービスの適正化を進めている。	実施済	住宅型有料老人ホームの入居者に対する訪問介護の頻繁な提供等が行われる場合はヘルパー不足や介護保険料の上昇に影響することから、利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなるよう専門職による点検や、介護付き有料老人ホームへの転換の促進等を図り、介護サービスの適正化を進めている。
90	R4	若者	旭川市公式YouTubeの“サブチャンネル”を作り「プロフェッショナル〜旭川市民の流儀」「あさっぴーがギネスに挑戦」など、旭川に興味を持ってもらえるような動画を発信	広報広聴課	調査	メリット・デメリット、運用方法を踏まえ導入の可否について調査を要する。	長期検討	市公式YouTubeにおいて新企画「Sketch Book」を開始し、動画による情報発信を強化した。また、YouTubeのメリット・デメリットや広報媒体としての方向性を精査し、サブチャンネル導入の必要性を検討していく。
91	R4	若者	YouTubeやTikTokを目的別にフル活用	広報広聴課	調査	YouTubeは、継続して市の魅力や市政情報の発信に活用する。TikTokは、メリット・デメリットを踏まえ導入の可否について調査を要する。	調査	TikTokについては、運用事業者からのヒアリングを継続し、日本国内のMAU（月間アクティブユーザー数）の推移をみながら、実際にアカウントを開設する場合の目的・コンテンツ内容等を検討し、その労力・費用対効果を見極めていく。
92	R4	若者	今注目のVtuberを作って話題性を高める	広報広聴課	調査	メリット・デメリット、運用方法を踏まえ導入の可否について調査を要する。	調査	メリット・デメリット、運用方法を踏まえ導入の可否について調査を要する。
93	R4	若者	飲食店に同席した人や市政に関わる職員が入り混じって旭川の未来などまちづくりの話をする	広報広聴課	調査	若い世代を含む市民からの率直な意見が市に届く仕組みづくりが重要で、その手法は飲食店での意見交換に限らずとも可能と考える。その上で、市民と市職員等による意見交換について、ニーズや手法等を調査検討する。また、次年度以降に開催する旭川未来会議2030における市職員の立ち位置を再検討するとともに、対面で行う広聴事業全体で意見を出しやすい場の雰囲気等について工夫する。	調査	若い世代を含む市民からの率直な意見が市に届く仕組みづくりが重要で、その手法は飲食店での意見交換に限らずとも可能と考える。その上で、市民と市職員等による意見交換について、ニーズや手法等を調査検討する。また、令和5年度の旭川未来会議2030の開催に当たり、参加者の主体性を損なわない範囲で市職員の会議への関わりを認めることとし、参加者と市職員が一体となって会議を進めるよう改めた。
94	R4	若者	今津市長がときどきサプライズでその場に現れ、一緒になって未来について語り合う	広報広聴課	調査	数多くの公務を抱える市長が参加する行事等は、その効果が最大限に発揮できるものでなくならず、日程を含め綿密な事前準備が必要なことから、サプライズでの実施は困難と考えるが、サプライズによらないものとして、「旭川未来会議（市長対話型）」の枠組みを活用した若者と市長の意見交換の開催を検討する。	調査	数多くの公務を抱える市長が参加する行事等は、その効果が最大限に発揮できるものでなくならず、日程を含め綿密な事前準備が必要なことから、サプライズでの実施は困難と考えるが、サプライズによらないものとして、「旭川の可能性無限大」の枠組みを活用した若者と市長の意見交換の開催を検討する。
95	R4	若者	若者が集まり、若者自身に考えてもらう機会をつくる 若者が意見を言える場所をつくる 若者がいつでもオープンに語り合える場と、その声が行政に届く仕組みが必要	広報広聴課	調査	個別の意見については、今後も「旭川未来創造ポスト」により受け付けるが、当該制度の若者への周知や、市政に反映された意見公表の効果的な手法、若者を対象とした市長対話事業の実施などについて検討する。	調査	引き続き、「旭川未来創造ポスト」を効果的に活用し、若者の意見を聞く手法を検討する。また、令和5年度は若手農業者を対象とした市長対話形式の広聴事業「旭川の可能性無限大」を実施し、若い世代の意見を積極的に聞く機会を設けた。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
96	R4	若者	買物公園に春夏秋冬を表す色彩や植栽を使っていくつかのコンセプトゾーンを作り、「行けば誰かに会え、語り合える」「何かやりたくなる」よい意味での「居場所・たまり場」にする	地域振興課	調査	R 5 年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	R 5 年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、効果的な取組について検討を行っている。
97	R4	若者	若者向けの「カルチャーセンター」の設立	地域振興課	調査	R 5 年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	R 5 年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、効果的な取組について検討を行っている。
98	R4	若者	買物公園において、スケートボードエリア、路上パフォーマーエリアなど現状では制限されているものについても、ルールを作って指定の時間や曜日だけ解禁するなどしてカルチャームーブメントを作る	地域振興課	調査	R 5 年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	R 5 年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、様々な取組について検討を行っている。
99	R4	若者	買物公園において、祭りを興す、芝生ロード、滑り台、ロング綱引きなど市民のアイデアを実現できる仕組みを作る	地域振興課	調査	R 5 年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	R 5 年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、様々な取組について検討を行っている。
100	R4	若者	屋外フェス、ストリートライブなど人が集まるイベントを開催	地域振興課	調査	R 5 年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	R 5 年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の滞在機能の強化などに向けて、様々な取組について検討を行っている。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
101	R4	若者	買物公園でイベントを行う際の手続の簡素化	経済交流課	改善可能	道路占用は土木管理課、道路使用は旭川中央署、電源等の使用は買物公園企画委員会がそれぞれ所管しており、旭川まちなかマネジメント協議会が申請の支援を実施している。今後、継続開催時の手続の簡素化の検討やまちなかマネジメント協議会の更なる周知を実施していく。	長期検討	旭川まちなかマネジメント協議会が行う申請支援の周知を継続するとともに、R5年度に立ち上げた「買物公園のあり方会議」(地域振興課、経済交流課、土木管理課が共同事務局)においても、手続の簡素化等について協議を行っている。
				土木管理課	長期検討	買物公園は道路法上の歩行者専用道路として位置づけられており、道路をイベントの開催等で使用する場合には、道路法に基づく道路占用申請や道路交通法に基づく道路使用許可など法令に定められた手続きが必要となるほか、買物公園でのイベントの企画調整を担っている旭川平和通買物公園企画委員会との各種調整や定められた手続きが必要となることや、公共空間でもある道路の占用や使用に当たっては、公共性や公益性を担保する観点から、原則として国や地方公共団体が後援する団体などに限定しています。法令で定められた手続きをなくすことはできませんが、過去に道路占用許可を受けたイベントを繰り返し開催する場合で、主催者や目的、内容が全く同じであれば、先の申請時に提出された資料の活用や協議経過を参考にするなどにより、手続きの簡素化が可能であると考えております。	長期検討	買物公園は道路法上の歩行者専用道路として位置づけられており、道路をイベントの開催等で使用する場合には、道路法に基づく道路占用申請や道路交通法に基づく道路使用許可など法令に定められた手続きが必要となるほか、買物公園でのイベントの企画調整を担っている旭川平和通買物公園企画委員会との各種調整や定められた手続きが必要となることや、公共空間でもある道路の占用や使用に当たっては、公共性や公益性を担保する観点から、原則として国や地方公共団体が後援する団体などに限定しています。法令で定められた手続きをなくすことはできませんが、過去に道路占用許可を受けたイベントを繰り返し開催する場合で、主催者や目的、内容が全く同じであれば、先の申請時に提出された資料の活用や協議経過を参考にするなどにより、手続きの簡素化が可能であると考えております。
102	R4	若者	「見て・触れて・遊べる」デザインミュージアム（ものづくりのプロセス展示や体験型の学び）を作る	産業振興課	実施済	デザインを見て、触れて体験できる場として、A D W時に「まちなかキャンパス」を開催。こういった取組を継続的にを行い、まずはデザインの意識の醸成に努める。	実施済	デザインを見て、触れて体験できる場として、A D W（あさひかわデザインウィーク）や「まちなかキャンパス」を産学官連携により開催。こういった取組を継続的にを行い、まずはデザインの意識の醸成に努める。
103	R4	若者	旭川式デザイン英才教育（デザイン思考を身につける教育を幼稚園や学校の授業に導入）	産業振興課	実施済	現在、小学校を対象に、市内のデザイナーと協力して、デザイン出前授業を行っており、引き続き、「デザイン＝考える、企てる（広義の意味）」の普及に努める。	実施済	現在、小学校を対象に、市内のデザイナーと協力して、デザイン出前授業を行っているほか、中学・高校を対象としたデザインの教育を進めており、引き続き、「デザイン＝考える、企てる（広義の意味）」の普及に努める。
104	R4	若者	"旭川＝動物園"のイメージを活かして町中の標識や公共の場所に動物のデザインを入れる	土木管理課	実施済	中心市街地にはロードヒーティング制御盤の扉に動物の写真をプリントしたものが4基、豊岡4・14条斜線通線には動物のイラストと名前が書かれた看板を55基設置しているなど、道路整備などの機会をとらえて、動物デザインを活用した対応を行っております。	実施済	中心市街地にはロードヒーティング制御盤の扉に動物の写真をプリントしたものが4基、豊岡4・14条斜線通線には動物のイラストと名前が書かれた看板を55基設置しているなど、道路整備などの機会をとらえて、動物デザインを活用した対応を行っております。
				公園みどり課	実施済	公園の遊具や花壇に動物のデザインを取り入れている。	実施済	公園の遊具や花壇に動物のデザインを取り入れている。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
105	R4	若者	世界のデザイン都市との交流やデザイン分野で活躍する方との交流の機会を作る	産業振興課	実施済	デザイン分野の第一線で活躍する方を講師としたセミナーやシンポジウムを開催し、市民のデザインに関する意識の醸成向上に取り組んでいる。	実施済	デザイン分野の第一線で活躍する方を講師としたセミナーやシンポジウムを開催し、市民のデザインに関する意識の醸成向上に取り組んでいる。
106	R4	若者	公共施設などにデザイン性の高い建築物を導入	公共建築課	実施済	公共施設の建設にあたり、周辺地域景観との調和や豊かで潤いのある施設とするため、公共施設色彩計画等検討委員会を開催し、色彩やデザイン等の検討を行っている。また、必要に応じて景観アドバイザーの派遣を要請し、専門的立場からの指導助言を受けている。	実施済	公共施設の建設にあたり、周辺地域景観との調和や豊かで潤いのある施設とするため、公共施設色彩計画等検討委員会を開催し、色彩やデザイン等の検討を行っている。また、必要に応じて景観アドバイザーの派遣を要請し、専門的立場からの指導助言を受けている。
107	R4	若者	自然とICTが融合されたキャンプ、グランピングなどのアウトドア施設の整備	観光課	長期検討	観光課でのハード整備は行っていないため、まずはキャンプ場を所管する他部署での検討が必要。	長期検討	観光課でのハード整備は行っていないため、まずはキャンプ場を所管する他部署での検討が必要。
108	R4	若者	スケートパークをつくる	スポーツ課	長期検討	現在、パーク設置状況を全国35自治体に照会中。R5年度においては、視察旅費や調査委託費を要求。R6年度以降のパーク設置を目指す。	長期検討	全国35自治体のパーク設置状況の照会結果に基づき、市内パーク設置場所について検討中。
109	R4	若者	eスポーツの推進などICTパークの更なる活用	経済交流課	改善可能	ICTパークでは、eスポーツの推進に限らず、プログラミングや先端技術の体験といった、様々なコンテンツの充実を図っており、今後の事業構築の参考とする。	改善	ICTパークでは、eスポーツの推進に加え、プログラミングや先端技術の体験といった、様々なコンテンツを実施している。
110	R4	若者	公共交通の利便性の向上	都市計画課	改善可能	R5年度においても、引き続き、路線バスの維持確保に向けた取組などを実施する。	改善可能	R5年度においても、引き続き、路線バスの維持確保に向けた取組などを実施
111	R4	若者	主要都市からの航空便の増加	空港政策課	長期検討	これまでの航空会社要望活動を今後も継続していく。	実施	ジェットスター・ジャパンによる旭川＝東京(成田)線が令和5年12月に就航するほか、航空会社要望活動を今後も継続していく。
112	R4	若者	地域おこし協力隊を増やして旭川の魅力をPR	地域振興課	長期検討	起業家の誘致にかかわる取組など、本市の活性化や魅力向上につながる地域おこし協力隊の増員などについて、今後も検討を行う。	長期検討	今後も引き続き、本市の活性化や魅力向上につながる地域おこし協力隊の増員などについて検討を行う。
113	R4	若者	投票証明書による割引などの特典を活用して若者が選挙や市政に興味を持つ仕組みづくり	選挙管理委員会事務局	実施済	R4参議院議員通常選挙から、投票所来場カードを発行し、期日前投票所及び当日投票所に配置している。	実施済	R5統一地方選挙においても、投票所来場カードを発行し、期日前投票所及び当日投票所に配置した。
114	R4	環境	地産地消エネルギー創出の可能性を官民連携で検討	環境総務課	長期検討	さまざまな機会を生かし地産地消エネルギー創出の可能性を官民連携で検討します。	長期検討	さまざまな機会を生かし地産地消エネルギー創出の可能性を官民連携で検討します。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
115	R4	環境	上川地方の市町村と連携し、再生可能エネルギー資源の可能性を調査	環境総務課	長期検討	近隣8町との間で、旭川大雪圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約等に基づき、再生可能エネルギー資源の可能性調査に向けた協議を行います。	長期検討	近隣8町との間で、旭川大雪圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約等に基づき、再生可能エネルギー資源の可能性調査に向けた協議を行います。
116	R4	環境	地場の再生可能エネルギー資源の有効活用のため、エネルギーの地産地消を検討	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（区域施策編）の改定作業の中で、地場の再生可能エネルギー資源の有効活用という観点から、エネルギーの地産地消を検討しています。	長期検討	関係部局等とともに、地場の再生可能エネルギー資源の有効活用という観点から、エネルギーの地産地消を検討しています。
117	R4	環境	公共施設で使用する燃料の脱化石燃料	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（事務事業編）の改定作業の中で、公共施設の脱炭素化に向けた施策の基本的方針等を検討します。	長期検討	関係部局等とともに、公共施設の脱炭素化に向け検討します。
				公共施設マネジメント課	改善可能	「脱炭素化事業（※1）」が「公共施設等適正管理推進事業債」の対象に追加（※2）されたため、令和6年度以降の活用を見据え、令和5年度中を別途「脱炭素化の推進方針」を「旭川市公共施設等総合管理計画」に追記することを検討中（※3） ※1「太陽光発電の導入」、「建築物におけるZEBの実現」、「省エネルギー改修の実施」、「LED照明の導入」 ※2 充当率90%、交付税措置率30～50%（応財政力） ※3 当該起債メニューの適用に当たっては、「旭川市公共施設等総合管理計画」（当課所管）に加え、「旭川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）『エッころしよ』」（環境総務課所管）の改定も必要のため、環境総務課と連携して対応	長期検討	脱炭素化に関する地方債について、令和5年度に基準が変更（※）となり、「旭川市公共施設等総合管理計画」への「脱炭素化の推進方針」の記載が要件ではなくなったため、令和5年度中の同計画への追記は見送り、今後の改訂の中で検討する。 ※令和4年度 「公共施設等適正管理推進事業債」の対象の一つ 令和5年度 「脱炭素化推進事業債」の創設
				管財課	長期検討	令和5年度に供用開始される新総合庁舎では、冷暖房等の空調設備に使う燃料は、環境負荷が石油よりも少ないガスや電気のほか、太陽光や地中熱の再生可能エネルギーも活用することとしている。 また、第二庁舎は暖房と給湯に重油ボイラーを使用しているが、設備更新の際はガス焚のボイラー等、重油を使用しない設備の導入を検討する。	長期検討	令和5年度に供用開始される新総合庁舎では、冷暖房等の空調設備に使う燃料は、環境負荷が石油よりも少ないガスや電気のほか、太陽光や地中熱の再生可能エネルギーも活用することとしている。 また、第二庁舎は暖房と給湯に重油ボイラーを使用しているが、設備更新の際はガス焚のボイラー等、重油を使用しない設備の導入を検討する。
118	R4	環境	公用車のEV化	環境総務課	調査	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（事務事業編）の改定作業の中で、公用車のEV化に関する施策等について調査します。	調査	関係部局等とともに、公用車のEV化に関する施策等について調査します。
				管財課	長期検討	R6から一部導入できるか検討中。	予算要求	令和6年度2台導入予算計上。
119	R4	環境	高齢者、若者にやさしい公共交通機関の整備 (早い、安い、きれい、便利)	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（区域施策編）の改定作業の中で、温室効果ガスの排出削減と利便性の向上の両立という観点から、公共交通機関のあり方等を検討します。	長期検討	関係部局等とともに、温室効果ガスの排出削減と利便性の向上の両立という観点から、公共交通機関のあり方等を検討します。
				都市計画課	長期検討	今後も引き続き、ユニバーサルデザインタクシーの導入に係る支援を実施する。 (寿パスカード(長寿社会課)・バス無料DAYの実施)	長期検討	今後も引き続き、ユニバーサルデザインタクシーの導入に係る支援を実施する。 (寿パスカード(長寿社会課)・バス無料DAYの実施)

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
120	R4	環境	歩きたくなるまち、自転車に乗りたくなるまち	環境総務課	長期検討	現在実施しているエコ通勤等、市民の省エネ行動の促進に資する普及啓発等に努めるとともに、関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（区域施策編）の改定作業の中で、市民の省エネ行動の促進に向けた施策の基本的方針等を検討します。	長期検討	現在実施しているエコ通勤等、市民の省エネ行動の促進に資する普及啓発等に努めるとともに、関係部局等とともに、市民の省エネ行動の促進に向けた施策の基本的方針等を検討します。
				地域振興課	長期検討	今後も引き続き、R4に改定する「旭川市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の回遊の促進に向けた取組などについて検討を行う。	長期検討	今後も引き続き、R4年度に改定した「旭川市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の回遊の促進に向けた取組などについて検討を行う。 また、R5年度に実施している「買物公園のあり方検討会議」において検討を行っている。
				都市計画課	長期検討	「旭川市自転車活用推進計画」に基づき、関係部局と連携し、安全で快適な魅力ある自転車利用環境の整備を進めている。	長期検討	旭川市自転車活用推進計画に基づき、関係部局と連携し、安全で快適な魅力ある自転車利用環境の整備を進めている。
121	R4	環境	バス会社と連携し二酸化炭素を排出しないゼロエミッション車（ZEV）を公共交通機関へ導入	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（区域施策編）の改定作業の中で、バス（通勤通学用及び観光客等の双方）のゼロエミッション化に向けた施策について調査研究します。	長期検討	関係部局等とともに、バス（通勤通学用及び観光客等の双方）のゼロエミッション化に向けた施策について調査研究します。
				都市計画課	長期検討	導入費用が高額であり、費用対効果も含めて長期的な検討が必要である。	長期検討	導入費用が高額であり、費用対効果も含めて長期的な検討が必要
122	R4	環境	相乗りタクシーのシステムを導入し、エネルギー効率を高めた交通システムの構築	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、旭川市地球温暖化実行計画（区域施策編）の改定作業の中で、エネルギー効率の向上に向けた相乗りタクシー（デマンド交通）のあり方等を検討します。	長期検討	関係部局等とともに、エネルギー効率の向上に向けた相乗りタクシー（デマンド交通）のあり方等を検討します。
				都市計画課	長期検討	Maasシステムとの連携、バス会社との調整等、慎重な検討が必要である。	長期検討	Maasシステムとの連携、バス会社との調整等、慎重な検討が必要
123	R4	環境	ゼロウェイスト宣言	廃棄物政策課 環境総務課 清掃施設整備課 廃棄物処理課 環境指導課 クリーンセンター	長期検討	現状全く検討していません。先進事例である上勝町では、ごみ処理施設を1カ所のみとして、住民に自己搬入させるという徹底した取組とセットで行っている宣言であることから、旭川市が何をゴールとして宣言するのかという根本的なところから検討や議論が必要と考えています。	実施不可	旭川市では、ごみの減量、資源化を進めるために、ごみ処理基本計画の理念である「恵まれた環境との共生・美しい循環のまち」の実現を目指して、廃棄物の排出抑制・資源化・適正処理を推進しているところではありますが、先進事例である上勝町のような取組を取り入れることは現状想定しておらず、現実的に実施困難と考えております。
124	R4	環境	生ごみのコンポスト義務化	廃棄物政策課	実施不可	生ごみの堆肥化の取組は講習会の実施など推進しているところであるが、集合住宅などに住んでいる市民も多く、住環境にも大きく左右されることから「義務化」は現実的に実施困難と考えております。	実施不可	生ごみの堆肥化の取組は講習会の実施など推進しているところであるが、集合住宅などに住んでいる市民も多く、住環境にも大きく左右されることから「義務化」は現実的に実施困難と考えております。
125	R4	環境	店舗のリターナブル容器の定着化・量り売りなどの推進	廃棄物政策課	改善可能	量り売りなどの推進は「エコショップ認定制度」の中でも推奨しており、同制度の運用を通じて引き続き周知啓発を行います。リターナブル容器の定着化については、民間事業者で取組を進めていることから、こうした取組の事例について調査研究します。	一部改善	量り売りなどの推進は「エコショップ認定制度」の中でも推奨しており、同制度の運用を通じて引き続き周知啓発を行います。リターナブル容器の定着化については、民間事業者で取組を進めていることから、こうした取組の事例について調査研究します。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
126	R4	環境	マイボトル推進やエコな給水所の設置	廃棄物政策課	改善可能	マイボトルの推進については、優良認定事業所制度の中でも推奨しており、引き続き制度の活用を通じて事業所などでの普及を図るとともに、市民に向けた周知方法の工夫についても検討します。また、給水所の設置は民間でも進んでおり、こうした事例を調査研究します。	一部改善	マイボトルの推進については、優良認定事業所制度の中でも推奨しており、引き続き制度の活用を通じて事業所などでの普及を図るとともに、市民に向けた周知方法の工夫についても検討します。また、給水所の設置は民間でも進んでおり、こうした事例を調査研究します。
127	R4	環境	リペアイベントやフリマ、シェアリングエコノミー推進プロジェクト	廃棄物政策課	改善可能	現在もリペアを目的とした「おもちゃの修理屋さん」やリユースを目的とした「おもちゃと絵本のくるくる広場」などの取組を実施しており、これらの取組を基本として取組の充実を図ります。フリマやシェアリングエコノミーは、民間で導入が進んでおり、こうした事例などを調査研究します。	改善可能	現在もリペアを目的とした「おもちゃの修理屋さん」やリユースを目的とした「おもちゃと絵本のくるくる広場」などの取組を実施しており、これらの取組を基本として取組の充実を図ります。フリマやシェアリングエコノミーは、民間で導入が進んでおり、こうした事例などを調査研究します。
128	R4	環境	緑のゴミ袋をなくそう	廃棄物政策課 クリーンセンター	実施不可	スローガンとして掲げる分には良いが、ごみの分別体系が確立されている中では現実的には実施困難です。ただし、現在、燃やせないごみとして分類されている製品プラについて、プラ新法の成立を受けて、将来的には分別体系や再資源化の方法を検討する必要があるため、燃やせないごみの減少につながるよう取組を進めます。	実施不可	スローガンとして掲げる分には良いが、ごみの分別体系が確立されている中では現実的には実施困難です。ただし、現在、燃やせないごみとして分類されている製品プラについて、プラ新法の成立を受けて、将来的には分別体系や再資源化の方法を検討する必要があるため、燃やせないごみの減少につながるよう取組を進めます。
129	R4	環境	旭川の家庭ごみの3割以上を占める生ごみを減らしたい	廃棄物政策課	改善可能	これまでも生ごみ減量の観点から食品ロス削減の取組を推進してきており、今年度には食品ロス削減推進計画も策定する予定であることから、こうしたものも踏まえながら、効果的な食品ロス削減の取組を推進します。	改善	これまでも生ごみ減量の観点から食品ロス削減の取組を推進してきており、また、令和5年3月に食品ロス削減推進計画を策定し、基本施策の中で、食品ロスに関する意識の醸成を図ることを推進しています。
130	R4	環境	街中に環境スポットとなる拠点を設置	廃棄物政策課	長期検討	街中にハードを整備し維持するには多額の費用が必要となりますが、個人の意識に大きく左右される環境問題を啓発するためのハードは、効果も限定的であり、市の施設整備においても優先度は低いと考えます。	長期検討	街中にハードを整備し維持するには多額の費用が必要となりますが、個人の意識に大きく左右される環境問題を啓発するためのハードは、効果も限定的であり、市の施設整備においても優先度は低いと考えます。
131	R4	環境	フードバンク活動の市民への周知と活用促進	廃棄物政策課	改善可能	フードバンク活動自体の知名度は低く、認知度向上が課題であるため、フードバンク活動団体とも現在情報交換や協議を行っており、今後、周知方法などについて検討します。	改善	フードバンク活動団体の認知度向上のため、食品ロス削減ポータルサイトや環境イベントを活用するなど、周知に努めています。
132	R4	環境	規格外品や未利用食品を必要とする人や事業者につなげる仕組みづくり	廃棄物政策課 農業振興課	調査 調査	現在、規格外品なども販売される直売所の情報発信を農政部で行っているほか、未利用食品は、個人や事業者からフードバンクに届けられ活用されています。食品ロス削減の観点からも、関係部局や団体とも協議しながら、より効果的な内容や充実が図られるよう調査検討を行っていますと考えております。 J A あさひかわと子ども食堂のマッチング事例有。関係機関と協議が必要。	調査 調査	現在、規格外品なども販売される直売所の情報発信を農政部で行っているほか、未利用食品は、個人や事業者からフードバンクに届けられ活用されています。食品ロス削減の観点からも、関係部局や団体とも協議しながら、より効果的な取組の実施や既存取組の充実が図られるよう、引き続き調査検討を行っていますと考えております。 J A あさひかわと子ども食堂のマッチング事例有。関係機関と協議が必要。
133	R4	環境	飲食店などで利用者が楽しく前向きに取り組める食べ残し対策の検討	廃棄物政策課	調査	他都市の事例なども調査しながら、消費者が取り組みやすい飲食店での食べ残し対策について調査を進め、効果的な取組については事業者と協議しながら実施を検討します。	改善可能	今年度から、飲食店等に、市民向けの食品ロス削減に関する取り組みや宴会での食べ残しを減らす運動を周知啓発するPOP（卓上三角柱）の配付等、利用者が取り組みやすい飲食店での食べ残し対策について実施する予定です。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
134	R4	環境	自然と人の集まる森のようなまち	環境総務課	長期検討	市民の一人ひとりが自然との共生を考え行動するまちを目指して、市民の意識の高揚や行動の変革に資する普及啓発等に努めます。	長期検討	市民の一人ひとりが自然との共生を考え行動するまちを目指して、市民の意識の高揚や行動の変革に資する普及啓発等に努めます。
				地域振興課	調査	No.99, No.140と合わせ、R5年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	No.99, No.140と合わせ、現在、実施している「買物公園のあり方検討会議」において検討を行っている。
135	R4	環境	市民一人一人が野生動物との関係性を考える	環境総務課	長期検討	市民の一人ひとりが野生動物との関係性を考え行動するまちを目指して、市民の意識の高揚や行動の変革に資する普及啓発等に努めます。	長期検討	市民の一人ひとりが野生動物との関係性を考え行動するまちを目指して、市民の意識の高揚や行動の変革に資する普及啓発等に努めます。
				旭山動物園	実施済	旭山動物園は野生動物との関係性の契機を提供する施設であるため実施済みと考える	実施済	旭山動物園は野生動物との関係性の契機を提供する施設であるため実施済みと考える。
136	R4	環境	未来を見据えた森林や河川などの開発	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、持続可能な森林、河川等の開発を目指して、現行の開発制度に関する調査や研究を行います。	長期検討	関係部局等とともに、持続可能な森林、河川等の開発を目指して、現行の開発制度に関する調査や研究を行います。
				土木総務課	長期検討	【土木総務課による対応】 石狩川上流域において、治水対策と河川環境の保全が図られるよう各河川管理者に継続して要望する。	長期検討	【土木総務課による対応】 石狩川上流域において、治水対策と河川環境の保全などを目的とする流域治水プロジェクトの促進が図られるよう各河川管理者に継続して要望する。
				地域振興課	長期検討	今後、策定予定の「旭川駅周辺がわまちづくり計画」に基づき、水辺空間の利活用・整備について検討を行う。	長期検討	今後引き続き、R5年度に策定した「旭川駅周辺がわまちづくり計画」に基づき、水辺空間の利活用・整備について検討を行う。
137	R4	環境	森林の育成	環境総務課	調査	No.99, No.134と合わせ、R5年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	No.99, No.134と合わせ、現在、実施している「買物公園のあり方検討会議」において検討を行っている。
				農林整備課	改善可能	引き続き市有林の整備を進めるとともに、未整備の民有林の適切な管理に向けた現地調査について、R5年度予算要求中（森林整備対策費）	実施	引き続き市有林の整備を進めるとともに、未整備の民有林の適切な管理に向けた現地調査について、R5年度から実施している。
138	R4	環境	外来種の防除、生物多様性の保護	環境総務課	長期検討	関係団体等とともに、地域の生態系や生物多様性の一層の保全を図るため、効果的な外来種の防除等を検討します。	長期検討	関係団体等とともに、地域の生態系や生物多様性の一層の保全を図るため、効果的な外来種の防除等を検討します。
139	R4	環境	北彩都ガーデンのような公園を増やす	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、効果や費用、環境等、多角的視点から、北彩都ガーデンのような公園の設置の有効性等を研究します。	長期検討	関係部局等とともに、温室効果ガスの吸収源となる「みどり」の創出に努めます。
				公園みどり課	実施不可	北彩都ガーデンのような大規模ガーデンの新規整備は困難だが、既存公園を利用したガーデン機能の充実を検討する。	実施不可	北彩都ガーデンのような大規模ガーデンの新規整備は困難だが、既存公園を利用したガーデン機能の充実を検討する。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
140	R4	環境	買物公園の緑地化	環境総務課	長期検討	関係部局等とともに、効果や費用、環境等、多角的視点から、平和通買物公園内における芝生ルートの設置の有効性等を研究します。	長期検討	関係部局等とともに、温室効果ガスの吸収源となる「みどり」の創出に努めます。
				地域振興課	調査	No.99、No.134と合わせ、R5年度に実施予定の「（仮称）買物公園のあり方検討会議」において検討を行う。	調査	No.99、No.134と合わせ、現在、実施している「買物公園のあり方検討会議」において検討を行っている。
				土木管理課	実施不可	買物公園は、道路法に基づき認定された幅員20mの「歩行者専用道路」となっており、両側には4m幅の歩道、中央部には6m幅の消防車など大型の緊急車両が通行するための「緊急車両通行帯」を設けており、道路として安全に通行できる状態を確保する必要があります。 また、緊急車両通行帯と歩道の間には街路樹を植えている3m幅の「施設帯」が両側に設置されておりますが、オープンテラスや食ペナルシェなど買物公園のにぎわい創出につながる様々なイベントの開催スペースとして利用されており、道路としての機能確保やにぎわい創出のためのイベント等に利用されている現状を踏まえ、「芝生のルートをつくる」などの「買物公園の緑地化」は困難であると考えられます。 買物公園の利用状況や構造の変更に際しましては、こうした現状を踏まえ、目的やメリットをしっかりと見極めながら、沿道商店街等の地域や市民の合意や、工事費や維持管理費など費用面についても念頭に置き、検討する必要があると考えております。	実施不可	買物公園は、道路法に基づき認定された幅員20mの「歩行者専用道路」となっており、両側には4m幅の歩道、中央部には6m幅の消防車など大型の緊急車両が通行するための「緊急車両通行帯」を設けており、道路として安全に通行できる状態を確保する必要があります。 また、緊急車両通行帯と歩道の間には街路樹を植えている3m幅の「施設帯」が両側に設置されておりますが、オープンテラスや食ペナルシェなど買物公園のにぎわい創出につながる様々なイベントの開催スペースとして利用されており、道路としての機能確保やにぎわい創出のためのイベント等に利用されている現状を踏まえ、「芝生のルートをつくる」などの「買物公園の緑地化」は困難であると考えられます。 買物公園の利用状況や構造の変更に際しましては、こうした現状を踏まえ、目的やメリットをしっかりと見極めながら、沿道商店街等の地域や市民の合意や、工事費や維持管理費など費用面についても念頭に置き、検討する必要があると考えております。
141	R4	環境	ごみ処理場等の見学会	環境総務課 廃棄物処理課	改善可能	既に見学会は実施しており、今後も継続していきます。	改善可能	既に見学会は実施しており、今後も継続していきます。
142	R4	環境	外来種ウチダザリガニ・アズマヒキガエルの防除体験	環境総務課	改善可能	関係団体等とともに、現在実施している市民のウチダザリガニ及びアズマヒキガエルの防除体験学習や情報発信の拡充を検討します。	改善可能	関係団体等とともに、現在実施している市民のウチダザリガニ及びアズマヒキガエルの防除体験学習や情報発信の拡充を検討します。
143	R4	環境	SNSや街頭モニターでの情報発信の強化	環境総務課	改善可能	例えば、旭川グリーンアンバサダーによるメッセージ等の効果的な情報発信を検討します。	改善可能	例えば、旭川グリーンアンバサダーによるメッセージ等の効果的な情報発信を検討します。
				広報広聴課	予算要求	継続して、関係部局と連携しながら、各広報媒体を活用した情報発信を積極的に行う。 令和5年度から、SNSキャンペーンや市ホームページのデザインリニューアル、デジタルサイネージの導入など、デジタル媒体を活用した情報発信体制を強化する。	実施	ウームピズの取り組みについて、庁内放送等を活用し職員への周知を徹底したほかSNSでも周知した。引き続き担当部局と連携しながら、各広報媒体を活用した情報発信を積極的に行っていく。
144	R4	環境	学校と連携した環境教育	環境総務課	改善可能	関係部局等とともに、現在実施している児童を対象としたエコライフレポート（児童が、①環境部職員による地球温暖化対策の講座を受講した上、②夏休み又は冬休み期間中、省エネ行動に実際に取り組み、③休暇終了後、学校にその結果を報告する、という事業）等の拡充や、新規の連携事業を検討します。	改善	エコライフレポートの参加校を令和4年度の10校から、令和5年度は18校に拡充しました。
				教育指導課	実施済	新学習指導要領等を踏まえ、令和2年に教育委員会が作成した教育課程編成の指針において、各教科等に環境教育の内容を位置付け、各学校に配付済	実施済	学習指導要領等を踏まえ、令和2年に教育委員会が作成した教育課程編成の指針において、各教科等に環境教育の内容を位置付け、各学校に配付済

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
145	R4	環境	市民・NPO・行政の輪	環境総務課	改善可能	現在実施している環境アドバイザー制度を活用した市民の環境学習を推進するとともに、市民・NPO・行政との協働による環境イベント等の実施についてを検討します。	改善	令和5年9月に市民・NPO・行政との共同により、地球にやさしい環境への取り組みを身近に感じてもらうため、古材を利用したコースター作り等のワークショップや野生動物との共生に関するステージイベント等を行う環境イベント「アースフェス旭川2023」を開催しました。
146	R4	子育て	図書館分室のように、本の貸出、返却ができるといい。	おやこ応援課	調査	分室の設置は困難だが、返却ポストの設置については、返却場所の全市のバランス、費用や運用管理方法などを踏まえて、中央図書館と協議する。	実施不可	waka・baの主な利用者である妊産婦、未就学児とその保護者が、自身及び児童の安全に特に留意していることに鑑みると、図書の返却のために不特定かつ一定数の市民が入り出す状況には少なからず抵抗感があると考えられることから、安心して利用できる環境確保のため、現時点で返却ポストは設置しない。
				中央図書館	調査	返却ポストの設置について、費用や運用管理方法などの検討が必要。	実施不可	waka・baの主な利用者である妊産婦、未就学児とその保護者が、自身及び児童の安全に特に留意していることに鑑みると、図書の返却のために不特定かつ一定数の市民が入り出す状況には少なからず抵抗感があると考えられることから、安心して利用できる環境確保のため、現時点で返却ポストは設置しない。
147	R4	子育て	waka・ba wakuwaku（わくわく）、anshin（安心）、kosodate（子育て）、asahikawa（旭川）のそれぞれの頭文字と、「若葉」を掛け合わせ、子どもたちには若葉のようにすくすく育てほしいという思いと、親には楽しんで子育てしてほしいという思いを込めて。「ba」には、居場所などを表す「場」の意味も含む。	おやこ応援課	改善	ツルハ旭川中央ビル2階に設置する子育て支援施設の愛称を「旭川市子育て世代包括支援センター w a k a ・ b a 」にするとともに、参加者の意見を踏まえてロゴマークを作成した。	改善	ツルハ旭川中央ビル2階に設置する子育て支援施設の愛称を「旭川市子育て世代包括支援センター w a k a ・ b a 」にするとともに、参加者の意見を踏まえてロゴマークを作成した。
148	R4	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心で行きやすい ・通路やエレベーター、トイレなど、ベビーカーや車いすでも利用しやすいこと。 ・自動車を利用するときの駐車場 ・駐車場等からの動線 	おやこ応援課	改善	<p>施設への動線については、ビル1階からエレベーター等での来所を案内することとしたほか、入口や通路の幅を広くすることで、子ども連れでも余裕を持って利用できるように配慮した。</p> <p>隣接する立体駐車場との連絡通路について、手すりや床の隙間を塞ぐなど、可能な範囲で安全対策を講じたほか、インターホンを設置し、大型のベビーカー利用時などの困りごとに職員が対応できるようにした。</p> <p>利用者の駐車場については、中心街共通駐車券ラクラクチケットを活用（近隣に約500台分）することとし、利用者のニーズに応じた駐車場の選択を可能とした。</p>	改善	<p>施設への動線については、ビル1階からエレベーター等での来所を案内することとしたほか、入口や通路の幅を広くすることで、子ども連れでも余裕を持って利用できるように配慮した。</p> <p>隣接する立体駐車場との連絡通路について、手すりや床の隙間を塞ぐなど、可能な範囲で安全対策を講じたほか、インターホンを設置し、大型のベビーカー利用時などの困りごとに職員が対応できるようにした。</p> <p>利用者の駐車場については、中心街共通駐車券ラクラクチケットを活用（近隣に約500台分）することとし、利用者のニーズに応じた駐車場の選択を可能とした。</p>

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
149	R4	子育て	●健診や相談を気軽に ・子どもが健診に行きたくするような、明るくて楽しい雰囲気 ・外出や子どもの遊びの「ついで」に相談できる仕掛け	おやか応援課	改善	施設内の壁や天井について、明るくやわらかい雰囲気の色や柄としたほか、待合室としても使用するプレイルームと健診スペースのイメージを統一し、子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるように配慮した。 令和5年度以降におけるプレイルームを活用した支援の在り方について、子ども連れでも参加しやすい子育て応援イベントを本年度中に試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて、具体的な取組を検討する。	改善	施設内の壁や天井について、明るくやわらかい雰囲気の色や柄としたほか、待合室としても使用するプレイルームと健診スペースのイメージを統一し、子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるように配慮した。 令和5年度以降におけるプレイルームを活用した支援の在り方について、子ども連れでも参加しやすい子育て応援イベントを本年度中に試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて、具体的な取組を検討する。
150	R4	子育て	●みんなで子育て ・子どもの年齢や発達段階における状況や行動を知ることができる。 ・子どもが騒いだりしてもあたたかく見守ってくれる。 ・「大丈夫だよ」と言ってくれる人がいる。	おやか応援課	改善	利用者と民間、行政が効果的につながり、利用者の状況に応じた多面的で柔軟な支援の在り方について、本年度中に民間と連携した子育て応援イベントを試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて令和5年度以降の具体的な取組を検討する。	改善	利用者と民間、行政が効果的につながり、利用者の状況に応じた多面的で柔軟な支援の在り方について、本年度中に民間と連携した子育て応援イベントを試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて令和5年度以降の具体的な取組を検討する。
151	R4	子育て	「遊びの空間」は、イベント等にも使用できるように。	おやか応援課	改善	プレイルームの弾力的な運用に向けて、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにした。	改善	プレイルームの弾力的な運用に向けて、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにした。
152	R4	子育て	遊びを提供する場合は、静かで落ち着いた遊びの場とする。	おやか応援課	改善	プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するように配慮している。	改善	プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するように配慮している。
153	R4	子育て	旭川産木製玩具を配置する。	おやか応援課	改善	木製スロープトイの研究・製作に取り組む旭川農業高校の協力により、同校から大小3基の木製スロープトイを借用し、配置している。	改善	木製スロープトイの研究・製作に取り組む旭川農業高校の協力により、同校から大小3基の木製スロープトイを借用し、配置している。
154	R4	子育て	知育玩具や絵本などを配置する。	おやか応援課	改善	プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するように配慮している。	改善	プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するように配慮している。
155	R4	子育て	可動式の仕切りで、利用目的にあわせて柔軟に空間運用できるように。	おやか応援課	改善	プレイルームの弾力的な運用に向けて、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにした。	改善	プレイルームの弾力的な運用に向けて、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにした。
156	R4	子育て	遊びの空間と健診スペースの中間スペースを仕切るようにして、イベントや「遊びから健診」への導入空間として活用してはどうか。	おやか応援課	改善	待合室としても使用するプレイルームと健診スペースのイメージを統一し、子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるように配慮した。	改善	待合室としても使用するプレイルームと健診スペースのイメージを統一し、子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるように配慮した。
157	R4	子育て	行事予定や子育てに関わる様々な情報を発信するインフォメーションディスプレイを設置してほしい（2箇所）。	おやか応援課	改善	インフォメーションディスプレイ（2台）を設置し、当日の予定や子育てに関する情報発信に使用している。	改善	インフォメーションディスプレイ（2台）を設置し、当日の予定や子育てに関する情報発信に使用している。
158	R4	子育て	トイレには、子ども用便器を設置してほしい。	おやか応援課	改善	女性用トイレに子ども用便器3基を設置した。	改善	女性用トイレに子ども用便器3基を設置した。

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和4年12月時点）	レベル	検討状況（令和5年10月時点）
159	R4	子育て	トイレの個室には荷物置きを設置してほしい。	おやこ応援課	改善	女性用トイレの個室に手荷物が置ける棚を設置した。	改善	女性用トイレの個室に手荷物が置ける棚を設置した。
160	R4	子育て	男子トイレにもベビーベッドやベビーシートを置いてほしい。	おやこ応援課	改善	男性用トイレの個室にベビーシートを設置した。	改善	男性用トイレの個室にベビーシートを設置した。
161	R4	子育て	荷物を入れるロッカーがあるといい。	おやこ応援課	実施不可	活動スペースの確保を優先するため、ロッカーの設置は見送った。	実施不可	利用者の活動スペースの確保を優先するため、ロッカーの設置は見送った。
162	R4	子育て	人目を気にせず相談や雑談ができるブースやコーナーがあるといい。	おやこ応援課	改善	相談室を複数設置し、個別の相談に対応できるようにした。今後、利用状況やプレイルームの活用状況を踏まえて、より気軽に相談や雑談ができるブース等の設置についても、必要に応じて検討していく。	改善	相談室を複数設置し、個別の相談に対応できるようにした。今後、利用状況やプレイルームの活用状況を踏まえて、より気軽に相談や雑談ができるブース等の設置についても、必要に応じて検討していく。
163	R4	子育て	子育てに関することや希望するイベントを投稿できるポストや掲示板があるといい。	おやこ応援課	改善	受付カウンターに未来創造ポストの投函箱を設置したほか、利用者アンケートを実施する。	改善	受付カウンターに未来創造ポストの投函箱を設置したほか、利用者アンケートを実施する。
164	R4	子育て	民間との連携	おやこ応援課	改善	利用者と民間、行政が効果的につながり、利用者の状況に応じた多面的で柔軟な支援の在り方について、本年度中に民間と連携した子育て応援イベントを試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて令和5年度以降の具体的な取組を検討する。	改善	利用者と民間、行政が効果的につながり、利用者の状況に応じた多面的で柔軟な支援の在り方について、本年度中に民間と連携した子育て応援イベントを試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて令和5年度以降の具体的な取組を検討する。
165	R4	子育て	お父さん、お母さん向けのイベント	おやこ応援課	調査	利用者と民間、行政が効果的につながり、利用者の状況に応じた多面的で柔軟な支援の在り方について、本年度中に民間と連携した子育て応援イベントを試行的に実施することとしており、その実施結果を踏まえて令和5年度以降の具体的な取組を検討する。	実施	令和5年度からプレイルームを活用して子育て支援に関する講座やイベントを実施している。